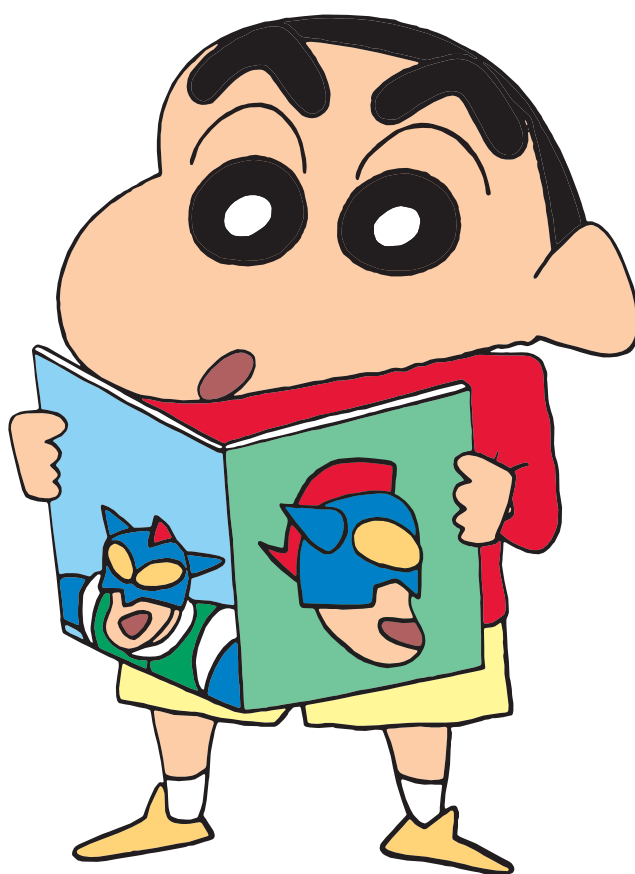


第2次春日部市子ども読書活動推進計画

(令和6年度 ~ 令和10年度)

—全ての子どもに読書の楽しみを—



「クレヨンしんちゃん」©白井儀人／双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK

令和6年3月
春日部市

はじめに

平成13年度に策定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、なくてはならないものとうたっています。



私は、子ども時代に図書館へ連れて行ってもらうなど、親が多くの本を与えてくれました。

子どもが読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ、読書体験を深め、将来にわたって本を楽しむ習慣を身につける機会を提供することは、大人の責務でもあるのではないのでしょうか。

例えば、子どもが幼い頃には、家族や周りの大人が子どもとともに本を楽しみ、読書への興味を持たせ、心の成長を見守ってあげてください。

また、一人で読書を楽しむことができる子どもには、読みたいときにはいつでも身近に本があるように、図書館、学校などが読書環境を整備するとともに、成長過程や興味関心に合わせた本を手渡すように努めます。

「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」では、第1次計画の基本的な考え方を継承するとともに、計画期間中の成果と課題を整理し、子どもの読書活動を取り巻く環境の変化を踏まえ、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を担いながら一層連携し、一体となって子どもの読書活動を総合的・計画的に推進してまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重なご意見をいただきました市民の皆様、計画策定をご討議いただいた春日部市立図書館運営審議会委員の皆様、策定に携わった皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年3月

春日部市長 岩谷一弘

目次

第1章 計画策定の背景

1 子どもの読書活動を取り巻く状況	1
-------------------------	---

第2章 第1次計画の成果と課題

1 第1次計画期間における取組の実施状況	
(1)【施策1】家庭における読書活動推進	3
(2)【施策2】地域における読書活動推進	4
(3)【施策3】学校等における読書活動推進	8
(4)【施策4】子どもの読書への関心を高める取組	10
(5)【施策5】子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進	11
2 第1次計画の指標の達成状況	
(1)数値目標の達成状況	12
(2)成果指標の達成状況	14

第3章 子どもの読書活動の状況

1 子どもの読書に関する意識	15
2 子どもの読書に関する活動	16

第4章 計画の基本的な考え方

1 計画の目的	19
2 計画の位置づけ	19
3 計画の対象	20
4 計画の期間	20
5 計画の理念と方針	20
6 計画の体系	21

第5章 子どもの読書活動推進のための取組

1 具体的取組

【施策1】家庭における読書活動推進

(1) 読書に親しむきっかけづくり 22

(2) 家庭の読書習慣の形成 23

【施策2】地域における読書活動推進

(1) 図書館の取組 24

(2) 子育て支援・社会教育施設等の取組 31

【施策3】学校等における読書活動推進

(1) 学校の取組 32

(2) 幼稚園・保育所(園)の取組 35

2 計画の進捗管理 36

3 数値目標 37

4 成果指標 38

資料編

1 春日部市子ども読書アンケート調査結果 39

2 春日部市子ども読書アンケート調査結果集計 42

3 春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会要綱 .. 68

4 春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会委員 .. 70

5 第2次春日部市子ども読書活動推進計画策定経緯 71

6 子どもの読書活動の推進に関する法律 72

7 用語解説 75

(※がついた用語は、巻末に解説があります。)

第1章 計画策定の背景

1 子どもの読書活動を取り巻く状況

(1) 子どもの読書活動を取り巻く状況

近年、インターネット環境の変化やSNSなどによるコミュニケーションの多様化などにより、子どもの生活やそれに伴う読書環境は大きく変化しています。スマートフォンなどの情報通信機器の発達・普及とともに、子どもたちが大量かつ多種多様な情報に触れる機会も増え、情報リテラシーの重要性がより一層高まっています。

また、国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」によって、学校のICT環境の整備が進み、春日部市においても1人1台端末が実現しました。ICT教育が一層充実したことで、従来の紙の本だけではなく、電子書籍など新しい形態の本を利用する子どもたちが増えています。

また平成元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（以下、「読書バリアフリー法」※という。）に基づいて、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」（以下、「読書バリアフリー推進計画」※という。）が策定されました。多様な子どもたちの読書機会の確保のため、全ての子どもの読書環境の整備が求められています。

(2) 国及び埼玉県の動向

国では、平成13年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいて、全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を積極的に推進することを基本理念とする「第一次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が平成14年8月に策定されました。その後、平成20年3月には、同第二次計画、平成25年5月には、同第三次計画、平成30年4月には同第四次計画が策定されました。さらに、令和5年3月には、令和5年度から令和9年度までの5年間の子ども読書活動推進に関する

る基本方針と具体的方策を明らかにする「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第五次）」が策定されました。

埼玉県では、平成16年3月に「埼玉県子ども読書活動推進計画」、平成21年3月には同第二次計画、平成26年7月には同第三次計画が策定されました。さらに、平成31年3月には、県内の子どもの読書活動の更なる推進を図り、「家庭、地域、学校における子供が読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実」などを基本方針とする「埼玉県子供読書活動推進計画（第四次）」が策定されました。



中央図書館



武里図書館



庄和図書館

第2章 第1次計画の成果と課題

- ・各取組の進捗状況は、数字1～5で評価しています。
(1 順調、2 概ね順調、3 やや遅れている、4 遅れている、5 未実施)
- ・各項目の「○」は成果、「●」は課題を表しています。

1 第1次計画期間における取組の実施状況

(1) 【施策1】家庭における読書活動推進

ブックスタート※や乳幼児向けおはなし会※などを継続的に実施し、子どもと保護者への働きかけを行いました。

また、小学生・中学生向けの家読(うちどく)ブックリストの作成や家読100冊セットを各学校へ配置するなど、家読※の推進に努めました。

具体的取組	進捗状況
ブックスタート事業(こども育成課、社会教育課)	2

- ボランティアによる絵本の読み聞かせやボランティアのスキル向上を目的とした研修会を実施しました。(こども育成課)
- 赤ちゃん絵本リスト「はじめて出会う絵本」などを配付し、ブックスタート以降も本に触れる機会を提供できるよう努めました。(社会教育課)

具体的取組	進捗状況
乳幼児向けおはなし会(社会教育課)	1

- 乳幼児と保護者を対象に、手遊びや赤ちゃん絵本の読み聞かせを行う「えほんのへや」や「ぴよぴよタイム」などを定期的の実施しました。

具体的取組	進捗状況
図書館利用の機会拡大(社会教育課)	1

- 乳幼児連れの保護者が図書館を利用しやすい「あかちゃんタイム」や、「子育て支援ファミリータイム」を毎週実施しました。

具体的取組	進捗状況
読書記録(社会教育課)	

- 子どもに読み聞かせた本や子どもの反応を記録するための読書記録用紙を図書館や市のホームページに掲載し、家庭で読んだ本を気軽に記録できるよう努めました。
- 読書記録用紙を印刷する機器を設置していない家庭では利用が困難です。

具体的取組	進捗状況
家読プロジェクト(社会教育課)	

- 小学生と中学生を対象に「友だちや家族にすすめたい本」のアンケート調査を実施し、子どもが選んだ本を中心にした「家読ブックリスト」を小学生・中学生用にそれぞれ作成し、児童生徒へ毎年配付しました。また、ブックリストに掲載した「家読100冊セット」を市内小・中・義務教育学校などへ配置しました。
- 図書館ごとに、子どもの本にまつわる家族の思い出エピソード「家族の大事な一冊」を募集し、関連本と合わせて特集展示を行いました。

(2) 【施策2】 地域における読書活動推進

図書館などの社会教育施設や児童センターなどの子育て支援施設では、それぞれの施設の設置目的に応じて児童書の貸出しや読み聞かせなどの読書活動を推進しました。

具体的取組	進捗状況
児童書の充実・整備(社会教育課)	

- 新しく出版された本やリクエストされた本など、子どもの成長を助けたり、子どもの興味関心がある身近な主題のものや話題の本などを継続的に購入し、蔵書の充実に努めました。
- スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスが身近な子どもの読書活動推進のため、子ども向けの電子書籍を積極的に購入しました。

具体的取組	進捗状況
読書環境の整備(社会教育課)	

- 図書館ごとに、季節や話題のテーマに応じた展示などを毎月実施しました。

- 図書館ごとに、中学生や高校生向けの本の常設コーナーを設置し、県内の高校司書が選んだおすすめ本のブックリストの配付や特集展示を行いました。

具体的取組	進捗状況
ハンディキャップのある子どもの読書活動支援(社会教育課)	2

- セカンドブック※事業「らんどせるブックかすかべ」の対象を拡大し、これまでの小学校と義務教育学校の1年生と併せて県立春日部特別支援学校の小学部1年生へも実施し、絵本や図書館利用券、読書通帳※のプレゼントや電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用登録を行いました。
- 子ども向けのマルチメディアDAISY図書※、LLブック※、音声読み上げに対応した電子書籍を購入しました。
- 図書館の蔵書を検索する際、ハンディキャップのある子ども用の区分がないため、子どもが主体的に読みたい本を選択しにくい状態になっています。

具体的取組	進捗状況
図書館利用者へのアンケート調査(社会教育課)	1

- 図書館ごとに、子どもと保護者を対象にしたアンケートを実施しています。アンケートで得られた意見は、電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の選書の際などに参考にしました。

具体的取組	進捗状況
おはなし会の実施(社会教育課)	2

- 「小さい子のおはなし会」などの年齢別おはなし会や、季節に応じたおはなし会を定期的に行いました。
- 小学生を対象にしたおはなし会の参加者は減少傾向にあります。

具体的取組	進捗状況
図書館利用促進のための取組(社会教育課)	2

- 小学1年生などを対象に、セカンドブック事業「らんどせるブックかすかべ」を実施し、絵本や図書館利用券、読書通帳のプレゼントや電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用登録を行いました。

- 小学生を対象とし、図書館を使って身近な疑問を調べる「図書館を使った調べる学習コンクール」※を実施し、本市から全国コンクールに出品した作品は、毎年優秀な成績を収めました。
- 図書館で借りた本の履歴を通帳に印字する「読書通帳」を、18歳以下の子どもを対象に、無料で発行しました。
- 図書館システムを活用した「夏休み読書マラソン大会」を実施し、目標冊数を達成した子どもに賞状を授与しました。
- 袋などに入れて中身の見えない状態にした本のセットを貸し出す「本の福袋」、子どもがお気に入りのぬいぐるみと一緒に絵本の読み聞かせなどに参加する「ぬいぐるみおとまり会」、読み聞かせとガーデニングを組み合わせた「中庭ガーデンワークショップ」など、図書館の利用促進につながる新しい取組を積極的に実施しました。

具体的取組	進捗状況
ボランティア等の支援・育成(社会教育課)	2

- 学校で活動するボランティアを対象に、読み聞かせに向く絵本のリストを各学校を通して配布しました。
- それぞれの図書館の状況に応じて、絵本の読み聞かせ講座を実施しました。

具体的取組	進捗状況
学校等との連携・協力(社会教育課)	2

- 学校の要望に応じて、調べ学習のための団体貸出、学校おはなし会、ブックトーク※を実施しました。
- 団体貸出に関するアンケート調査を随時実施し、学校の要望に応じた本の充実に努めました。
- 利便性の向上のため、司書職員が中学校等へ団体貸出の本を運搬する体制を整えました。

具体的取組	進捗状況
児童発達支援センターの取組(障がい者支援課)	1

- 公認心理師や言語聴覚士などの専門職による療育指導を通じて、障がいのある子どもが絵本などに触れる機会を作りました。

具体的取組	進捗状況
児童センターの取組(こども育成課)	1

- 読み聞かせの事業を実施しました。

具体的取組	進捗状況
子育て支援センターの取組(保育課)	1

- 各施設に児童書を配置し、読書の楽しさを体験する場を設けました。

具体的取組	進捗状況
放課後児童クラブの取組(こども育成課)	2

- 各放課後児童クラブに児童書を配置しました。

具体的取組	進捗状況
放課後子ども教室の取組(こども育成課)	2

- 小学校・義務教育学校23校のうち19校で学校図書館などを利用した放課後子ども教室を実施しました。

具体的取組	進捗状況
公民館の取組(中央公民館)	1

- それぞれの公民館の特色に応じて、児童書の貸出しや絵本の読み聞かせなどを実施しました。
- 公民館の状況によっては、子どもの読書活動推進のための取組が実施できない場合があります。

具体的取組	進捗状況
地域文庫の取組(社会教育課)	2

- ブックスタートの機会などにチラシを配付し、乳幼児の保護者へ周知を行いました。
- 地域文庫※の要望に応じて新しい本を購入したり、団体貸出を行いました。

(3) 【施策3】 学校等における読書活動推進

司書教諭、司書職員、学校図書館支援員などが連携し、小・中・義務教育学校それぞれで、児童生徒の読書活動の更なる拡充に取り組みました。

また、幼稚園や保育所(園)では、大型絵本などの読み聞かせの充実を図りました。

具体的取組	進捗状況
学校の取組(指導課)	1

- 本への興味関心を高めたり、読書の幅を広げたりするため、読書週間や読書月間、家庭読書などの取組を工夫しました。
- 読書の習慣化を図るため、読み聞かせ、読書タイムなど、読書の時間を工夫しました。
- 児童生徒の読書生活を充実させるため、教科や読書を関連づけた学習を展開しました。

具体的取組	進捗状況
学校図書館の取組(指導課)	1

- 児童生徒の図書館利用率を高めるため、本の貸出冊数や人気の本などの調査、推薦図書や購入した本の紹介など、学校の実態に応じた魅力ある図書館づくりを行いました。
- 読書をする場としてだけでなく、学習の場として使いやすい図書館づくりを行いました。

具体的取組	進捗状況
学校図書館の図書整備(教育総務課)	2

- 記述内容などが古くなり利用価値が失われた本や破損した本を廃棄する一方で、新しく出版された本を積極的に購入したことで、蔵書の更新が進みました。
- 学校図書館図書標準※の未達成校がありました。

具体的取組	進捗状況
学校図書館支援員の配置（小学校・義務教育学校（前期課程）図書館）（教育総務課）	2

- 学校図書館支援員を配置し、児童の読書意欲の向上や利用促進につなげるため、蔵書の整理や貸出、返却などの管理や支援をしました。
- それぞれの学校の特色に応じて、授業支援のための本集め、季節に合わせた本の展示、壁飾りの作成などを行いました。
- 学校図書館支援員の増員が求められています。

具体的取組	進捗状況
司書職員の訪問支援（中学校・義務教育学校（後期課程）図書館）（社会教育課）	1

- 司書職員が毎週訪問し、新着図書の入入れ、購入や廃棄図書のアドバイス、特集展示などを行いました。
- 小・中・義務教育学校で、本に登場する料理を学校給食で提供する「図書館レストラン」を実施しました。学校図書館で所蔵している本から料理を選び、本にまつわる「図書館レストランクイズ」を実施するなど、学校図書館の利用向上と読書意欲向上のための工夫を行いました。
- それぞれの学校の特色に応じて、授業支援のための本集め、生徒のブックトークやビブリオバトル※のアドバイス、プレゼントがもらえる「図書館クイズ」などを実施しました。

具体的取組	進捗状況
私立幼稚園の取組（保育課、社会教育課）	2

- 大型絵本などの団体貸出に比べられるような体制を整えました。（保育課）
- 団体貸出のチラシを作成・配布するなどの周知を行いました。（社会教育課）

具体的取組	進捗状況
公立保育所の取組（保育課、社会教育課）	1

- 子どもたちへ日常的な絵本の読み聞かせを行うとともに、保育士に対して絵本の紹介や子どもへの読み聞かせポイントなどの研修を行うなど、読み聞かせの実践を充実させるための活動を行いました。（保育課）

- 団体貸出のチラシを作成・配布するなどの周知を行いました。(社会教育課)

具体的取組	進捗状況
民間保育園の取組(保育課、社会教育課)	2

- チラシの配付などの周知活動を通して、各保育園からの要望に応えられるような大型絵本の団体貸出体制を整えました。(保育課)
- 団体貸出のチラシを作成・配布するなどの周知を行いました。(社会教育課)

(4)【施策4】子どもの読書への関心を高める取組

図書館では、子どもが図書館や本への理解を深めるための「子ども司書講座」や、本の紹介を通してコミュニケーションを図る「ビブリオバトル」などを実施し、子ども同士の働きかけによって読書活動を推進する取組を行いました。

具体的取組	進捗状況
子ども司書講座(社会教育課)	1

- 図書館ごとに、毎年実施し、講座を受講した子ども司書が絵本の読み聞かせや、おすすめ本のPOP作成を行いました。

具体的取組	進捗状況
ビブリオバトルの実施(社会教育課)	1

- 図書館ごとに、中学生や高校生を対象にしたビブリオバトルを実施しました。

具体的取組	進捗状況
子ども同士の読書活動の充実(指導課、社会教育課)	1

- 読書への関心をもつ機会を作るため、おすすめ本の紹介や、感想の交流を図るなど、学校の特色を生かした読書活動を継続しました。(指導課)
- 図書館ごとに、中学生が作成したおすすめ本のPOPの掲示と、関連本の特集展示を行い、地域住民の方へ子どもたちの学習成果を見ていただく機会を創出しました。(社会教育課)

(5) 【施策5】子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

図書館では、4月の「子ども読書の日」や10月の「文字・活字文化の日」などに合わせた特別なおはなし会の実施や、子どもの読書活動に関する啓発や広報活動を行いました。

具体的取組	進捗状況
「子ども読書の日」関連事業(社会教育課)	┃

- 4月23日の「子ども読書の日」から始まる「こどもの読書週間」に合わせ、屋外でのおはなし会や、特集展示、「読書パズル」などのイベントを実施しました。

具体的取組	進捗状況
ブックリストの配布(社会教育課)	┃

- 図書館ごとに、子どもの成長段階に合わせた本や、保護者向けのわらべ歌、中学生や高校生向けの電子書籍などのブックリストを作成し、関連本の特集展示などを行いました。

具体的取組	進捗状況
子どもの読書活動の啓発・情報発信(社会教育課)	┃

- 図書館ごとに、子育て支援コーナーを常設し、保護者が子どもの本選びに役立つ本を配置しました。
- 図書館ごとに、毎月図書館だよりを発行し、子ども向けの取組や特集展示について掲載しました。

具体的取組	進捗状況
「文字・活字文化の日」関連事業(社会教育課)	┃

- 10月27日の「文字・活字文化の日」から始まる読書週間に合わせ、季節ごとのおはなし会や、本に関するクイズラリー、文字アーティストのアートパフォーマンスなどを実施しました。

2 第1次計画の指標の達成状況

第1次計画では、具体的取組の進捗管理のために各施策の柱となる5つの数値目標を設定するとともに、計画全体の指標として「読書が好きな子どもの増加」と「不読率の改善」という2つの成果指標を設定し、これらを達成するために様々な取組を行いました。

しかしながら、令和5年3月に策定された国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第五次）」において、新型コロナウイルス感染症対策による学校の臨時休校や図書館の臨時休館などが子どもの読書活動に影響を与えた可能性が指摘されたとおり、本市においても同様の傾向が見受けられ、目標を十分に達成することが出来ませんでした。

(1) 数値目標の達成状況

① ブックスタート配付率（こども育成課）

平成29年度 基準値	⇒	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
96.03%		89.06%	97.24%

10 か月児健康診査の機会に実施しているブックスタート事業では、受診した乳児と保護者全員に絵本の配付を行いました。

② 図書館の児童書貸出冊数（社会教育課）

平成29年度 基準値	⇒	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
329,555 冊		311,542 冊	349,400 冊

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館などにより、児童書の貸出冊数は減少しましたが、コロナ禍をきっかけとして電子書籍の利用が拡大しました。

③ 図書標準達成校数（教育総務課）

平成 29 年度 基準値	⇒	令和 4 年度 実績値	令和 5 年度 目標値
37 校中 31 校 (83.8%)		34 校中 31 校 (91.2%)	34 校中 34 校 (100%)

全国学校図書館協議会が策定している「学校図書館図書廃棄基準」に基づいて蔵書を点検評価し、児童生徒及び教員の利用に役立つ本の整備に努めました。

④ 子ども同士の取組の参加者数（社会教育課）

平成 29 年度 基準値	⇒	令和 4 年度 実績値	令和 5 年度 目標値
46 人		85 人	110 人

同世代の子ども同士で読書の興味関心を高めるような「子ども司書講座」や中高生向け「ビブリオバトル」などの取組を実施しました。

⑤ 「子ども読書の日」「文字・活字文化の日」関連事業参加者数
(社会教育課)

平成 29 年度 基準値	⇒	令和 4 年度 実績値	令和 5 年度 目標値
16 人		296 人	110 人

保護者と子どもが共に参加して楽しみ、読書についての理解と関心を深めるような「青空えほんの会」などの事業を対象期間に実施しました。

(2) 成果指標の達成状況

① 読書が好きな子どもの割合

	平成29年度 基準値		令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
小学2年生	89.3%	⇒	85.5%	95.3%
小学5年生	84.5%		80.5%	90.5%
中学2年生	75.8%		73.6%	81.8%

読書が「好き」あるいは「どちらかといえば好き」と答えた子どもの割合は高く、小学生では8割以上、中学2年生では7割以上の水準でした。

基準値となる平成29年度と比較すると、いずれの年代でも読書が好きな子どもの割合が減少しています。しかしながら、小学生では、8割以上の高い水準を維持しているものの約4%減少したのと比較して、中学2年生では約2%の減少に留まっており、不読率の結果との関連性が見受けられます。

② 1か月に読んだ本が「0冊」の子どもの割合（不読率）

	平成29年度 基準値		令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
小学2年生	3.9%	⇒	5.7%	2.0%
小学5年生	7.8%		13.5%	3.9%
中学2年生	17.5%		19.5%	11.5%

不読率は学校段階・学年が上がるほど上昇し、小学2年生では1割以下、小学5年生では約1割、中学2年生では約2割の水準でした。

基準値となる平成29年度と比較すると、いずれの年代でも不読率が上昇しており、全国学校図書館協議会による全国調査※の結果と同様の傾向が見られますが、中学2年生については全国平均よりも不読率が低く、読書活動推進の取組の効果が見られます。

第3章 子どもの読書活動の状況

本市の子どもの読書傾向を調べるために、市内小学校・中学校・義務教育学校・高等学校に協力いただき、児童生徒へ読書アンケート調査を行いました。読書アンケート調査の結果からは、主に次のような子どもの読書活動に関する状況がうかがえます。

1 子どもの読書に関する意識

(1) 読書の「好き」「嫌い」について（P. 42：設問1）

本を読むことが「好き」あるいは「どちらかといえば好き」という回答割合は、小学2年生と5年生では8割以上、中学2年生と高校2年生では7割以上となっています。（小学2年生、5年生、中学2年生には、それぞれ義務教育学校2年生、5年生、8年生を含みます。以下同じ。）

前回の調査と比較すると、小学2年生と小学5年生では微減したものの、中学2年生と高校2年生では7割以上と、ほぼ横ばいとなっています。

(2) 読書への意識について（P. 44：設問2）

小学2年生と小学5年生では「楽しい」あるいは「知らないことがわかる」、中学2年生と高校2年生では「楽しい」あるいは「言葉が身につく」という回答割合が高くなっています。

読書は、内容を楽しんだり、知識を得たりするものといった意識を継続的に持っている結果となりましたが、前回の調査と比較すると、学校段階・学年に関わらず「楽しい」という回答割合が減少しました。

(3) 読書のきっかけについて (P. 54 : 設問6)

小学2年生と小学5年生では「家に読みたい本があること」あるいは「学校の図書室や学級文庫に読みたい本があること」という回答割合が高く、中学2年生と高校2年生では「家に読みたい本があること」あるいは「テレビ、雑誌、新聞、インターネットの広告」という回答割合が高くなっており、学校段階・学年が上がるにつれ、情報を取得する範囲が広がっています。

また、前回の調査と比較すると、「学校で行われている読書活動(朝読)など」の回答割合が減少しました。

2 子どもの読書に関する活動

(1) 1日あたりの読書時間について (P. 46 : 設問3)

学校のある日については、学校段階・学年が上がるほど読書時間が減少する傾向にあるものの、時間数に関わらず読書をする回答割合は、小学2年生では8割以上、小学5年生と中学2年生では約8割、高校2年生では約4割となっています。

学校のない休みの日については、平日と同様に学校段階・学年が上がるほど読書時間が減少する傾向にあり、平日と比較すると「読まない」の回答割合が高くなっています。

前回の調査と比較すると、小学2年生の平日以外は、学校段階・学年や平日・休日に関わらず、「読まない」という回答割合が増加しました。

(2) 1か月に読んだ本の冊数について (P. 50 : 設問4)

冊数に関わらず、1か月に1冊以上の本を読んだ回答割合を合わせると、小学2年生では9割以上、小学5年生では8割以上、中学2年生では8割、高校2年生では5割となっています。

1冊も読まなかったという回答(不読率)の割合は、小学2年生では1割以下、小学5年生では約1割、中学2年生では約2割、高校2年生では5割以下となっており、学校段階・学年が上がるほど、不読

率が高くなる傾向があります。

前回の調査と比較すると、学校段階・学年に関わらず不読率が高くなっており、10冊以上読む多読の子どもの割合も低下しました。

(3) 本を読まなかった理由について (P. 52 : 設問5)

設問4で「1か月で本を全く読まなかった」と回答した理由について、学校段階・学年に関わらず、「勉強や習いごと、部活、学習塾など、他の活動がいそがしかったから」あるいは「他にしたいことがあったから」という回答割合が高くなっています。

前回の調査と比較すると、小学生では「他にしたいことがあったから」の回答割合が増加しました。

(4) 学校図書館、市立図書館の利用状況について

(P. 56 : 設問7)

回数に関わらず、学校図書館を利用するという回答割合を合わせると、小学2年生では8割以上、小学5年生では7割以上、中学2年生では約4割、高校2年生では3割以上となっており、学校段階・学年が低いほど、学校図書館を利用する傾向があります。

また、回数に関わらず、市立図書館を利用するという回答割合を合わせると、小学2年生では約6割、小学5年生では約5割、中学2年生、高校2年生では約3割となっており、学校図書館と同様に学校段階・学年が低いほど、市立図書館を利用する傾向があります。

前回の調査と比較しても、学校図書館・市立図書館ともに利用状況に大きな変化はありませんでした。

(5) 家庭での読み聞かせ経験について (P. 60 : 設問8)

読み聞かせの経験が「ある」という回答割合は、小学2年生では7割以上、小学5年生では約7割、中学2年生では約6割、高校2年生では約8割となっており、前回の調査と比較しても大きな変化はありませんでした。

(6) 市立図書館のおはなし会について (P. 62 : 設問9)

「知っている」、あるいは「聞いたことがある」の回答割合を合わせると、小学2年生と小学5年生では約4割、中学2年生と高校2年生では4割以上となっています。

前回の調査と比較すると、小学2年生、小学5年生、中学2年生では「知らない」という回答割合が増加しました。

(7) 電子書籍の利用について (P. 64 : 設問10)

冊数に関わらず1か月に1冊以上の電子書籍を読んだ回答割合を合わせると、小学2年生と小学5年生では約3割、中学2年生では約4割、高校2年生では約3割となっています。

前回の調査と比較すると、高校2年生では電子書籍を読んだという回答割合が増加しました。

(8) 電子書籍の印象について (P. 66 : 設問11)

小学2年生では「紙の本のほうが好き」という回答割合が最も多く、4割以上となっていますが、学校段階・学年が上がるほど肯定的な意識が強くなり「いつでもどこでも読めるので便利」という回答割合が最も多く、小学5年生では約5割、中学2年生では約7割、高校2年生では8割以上となっています。

第4章 計画の基本的な考え方

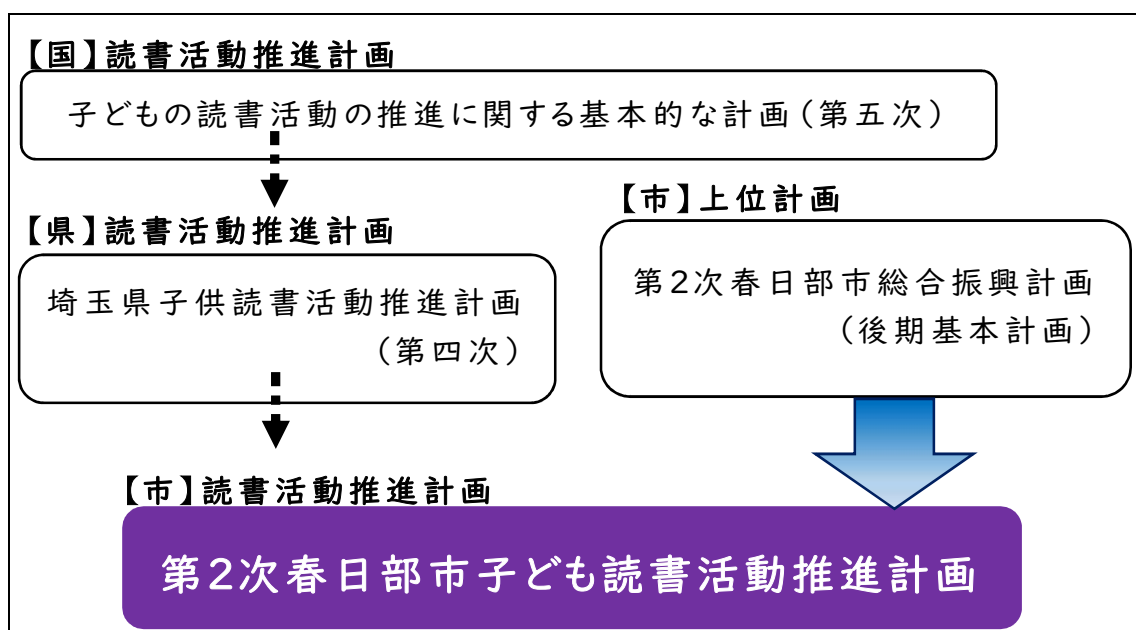
1 計画の目的

「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」は、第1次計画の成果と課題を踏まえて今後の方向性を明らかにし、本市が総合的、計画的に実施する取組を示すものです。

本計画は、全ての子どもが成長や興味に応じて読書の楽しさを発見し、自主的に読書活動ができるよう、また、家庭、地域、学校等が連携を深めて子どもの読書活動をより一層推進するために取り組むことを目指して策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条に基づき、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第五次）」、県の「埼玉県子供読書活動推進計画（第四次）」を踏まえ、「第2次春日部市総合振興計画（後期基本計画）」との整合性を図りながら、本市における子どもの読書活動の推進に関する具体的な施策について定めるものです。また、国の「読書バリアフリー推進計画」や「学校図書館図書整備等5か年計画（第六次）」などの関連計画との整合性を保つように努めます。



3 計画の対象

0歳からおおむね18歳以下の子どもとします。

また、保護者をはじめ、子どもの読書活動に関わる全ての市民、地域、学校、関係機関等も対象としています。

4 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

ただし、子どもの読書活動をめぐる状況等に変化があった場合、必要に応じて見直すこととします。

5 計画の理念と方針

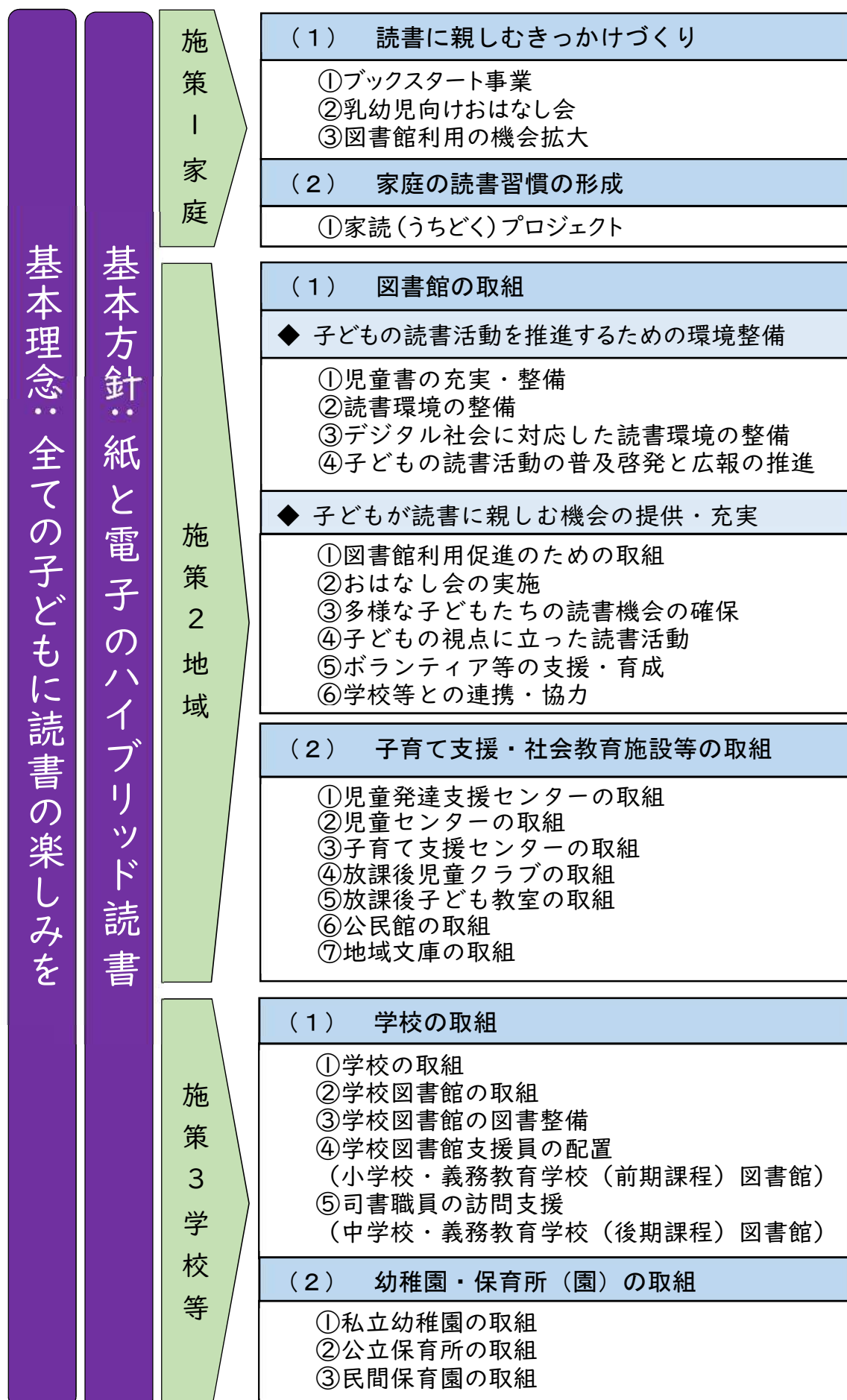
読書には、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする力があります。

絵本や物語は、想像力や感受性を育み、自分とは異なる人の気持ちに触れることができ、実生活においても相手の立場になって考え、他者を理解し、思いやることに役立ちます。また、知識習得のための本は、新しい知識や正しい情報を身につけることができ、現代社会の溢れる情報の中から正しい情報を読み取り、内容を把握する力を養うことができます。

本市で育つ全ての子どもが、読書を通して得た力で、社会の中で人々とともに生き、自ら考えて課題解決できる自立した人間に成長し、人生をより豊かで深いものにできるよう、子どもの読書活動推進に取り組めます。

第2次計画では、読書バリアフリー推進計画への対応やデジタル社会に対応した読書環境の整備を念頭に「全ての子どもに読書の楽しみを」を基本理念として掲げます。また、この基本理念を実現するため、「紙と電子のハイブリッド読書」を基本方針として、具体的な各施策を実施します。

6 計画の体系 <<計画体系図>>



第5章 子どもの読書活動推進のための取組

1 具体的取組

【施策1】家庭における読書活動推進

(1) 読書に親しむきっかけづくり

家庭での読書習慣を形成するため、最も身近な存在である保護者が子どもの読書活動の重要性を更に理解し、積極的に読書活動に関わるような働きかけを行います。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①ブックスタート事業	10か月児健康診査に訪れた乳児と保護者を対象に、絵本の配付とブックスタートボランティアによる絵本の読み聞かせを行います。また、ボランティアに対する研修を継続して実施します。	こども育成課	継続
	第1次計画期間中に出版された本を中心にした赤ちゃん絵本を周知します。	社会教育課	拡充
②乳幼児向けおはなし会	図書館ごとに、ボランティアと協力して乳幼児向けおはなし会を継続して実施するとともに、発達段階に応じた読み聞かせの相談に積極的に対応します。 (指定管理者)	社会教育課	継続
③図書館利用の機会拡大	図書館ごとに、幼い子どもを連れた保護者が周囲に気兼ねなく図書館を利用できるような時間帯を毎週設定し、幼い頃からの読書習慣の形成機会を拡大します。(指定管理者)	社会教育課	継続

(2) 家庭の読書習慣の形成

家庭における読書活動推進の具体的な取組として、読書を通じた家族のコミュニケーションを深めることを目的とした家読(うちどく)を一層拡充します。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①家読(うちどく)プロジェクト	<p>図書館ごとに、子どもの本にまつわる家族の思い出「大事な一冊家族エピソード」を募集し、館内掲示などで、家読の広報を図るとともに、家族の絆を深め、家庭での読書習慣の形成と継続を図ります。</p> <p>(指定管理者)</p>	社会 教育課	継続
	<p>児童生徒が自ら選んだ本を中心に、新たな「家読おすすめ本」を選定し、ブックリストの作成・配布を行い、家読の広報と利用拡大を図ります。</p>	社会 教育課	継続
	<p>「家読おすすめ本」を活用し、「リレーうちどく※」などの新しい取組を実施します。</p> <p>(指定管理者)</p>	社会 教育課	新規
	<p>保護者が家庭で読み聞かせた本を記録するための「読書記録」用紙を、新たに「うちどくノート」として図書館ホームページで提供するとともに、図書館で印刷版を配布し、家庭での読書活動推進の動機付けに努めます。</p>	社会 教育課	拡充
	<p>図書館ごとに、家読おすすめ本の展示コーナーを常設して、ブックリストの配布と本の貸出しを行い、家読の推進に努めます。</p> <p>(指定管理者)</p>	社会 教育課	継続
	<p>家庭に子どものための本棚やコーナーがあるなど、常に子どもの身近に本がある環境を実現できるよう、家読の広報を図ります。</p>	社会 教育課	継続

【施策2】 地域における読書活動推進

(1) 図書館の取組

◆子どもの読書活動を推進するための環境整備

図書館は地域における本や読書の中心的な役割を担っており、子どもが自由に本を選び、読書に親しむ環境が期待されています。

また、ICT環境の変化を踏まえ、全ての子どもが紙や電子といった媒体に関わらず、読書を楽しむことができるよう、図書館の環境整備に取り組みます。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
① 児童書の充実・整備	蔵書の中核を成すような優れた児童書を中心に、新しく出版された本の中から、魅力的な絵本や物語、最新の情報が掲載された本など、今を生きる子どもにふさわしいものを継続して選定し、未来を生きる子どもたちへ継承します。	社会 教育課	継続
	長年読み継がれて、激しい汚破損が見受けられる基本図書の買い替えを行い、常に子どもの読書意欲が持続するよう努めます。	社会 教育課	継続
② 読書環境の整備	図書館ごとに、全ての子どもが読みたい本と出合えるよう、年齢やテーマを工夫した展示コーナーを充実させ、子どもが自主的に本を選べる読書環境を整えます。 (指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館ごとに、中学生や高校生が興味を持つようなテーマに関する本の展示を定期的実施するなど、中高生コーナーの充実に努め、中学生や高校生が気軽に図書館に足を運び、本を借りたくなるような環境を整えます。(指定管理者)	社会 教育課	拡充

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
② 読書環境の整備	図書館ごとに、年齢層別のブックリストを改訂するとともに、リストに掲載された本の展示・特集コーナーを設置し、本選びに迷う子どもと保護者が本を選びやすい環境を整えます。(指定管理者)	社会教育課	拡充
	図書館ごとに、子どもと保護者を対象としたアンケート調査を毎年継続して実施し、アンケート調査結果を参考に、子どもの読書活動を一層充実するように努めます。(指定管理者)	社会教育課	継続
③ デジタル社会に対応した読書環境の整備	絵本や物語、知識を習得するものなど、子どもの成長段階に合わせた電子書籍を拡充します。	社会教育課	継続
	GIGA スクール構想の実現による1人1台端末を活用して、各学校の読書の時間などで電子書籍を活用できるよう、図書館の電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」を各学校名で団体登録するなど利便性の向上に努めます。	社会教育課	新規
	小・中・義務教育学校の1年生などを対象に、学校を通して「かすかべ電子図書館」の利用登録を行います。	社会教育課	拡充
	郷土への理解を深め、郷土愛を育むため、郷土を題材とした昔話や市内の子どもたちの作品をデジタル化して図書館のホームページなどで公開します。	社会教育課	拡充
	各学校を通じて、学校図書館に「かすかべ電子図書館」のポスターを掲示するなど、更なる周知に努めます。(指定管理者)	社会教育課	新規

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
④子どもの読書活動の普及啓発と広報の推進	図書館ホームページや市公式 SNS を積極的に活用し、子ども向けの読書活動推進のための取組などの広報を行います。また図書館ごとに、「図書館だより」を毎月発行して、図書館や関連施設などで配布し、情報発信を行います。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館ごとに、保護者が子どもの読書活動に理解と関心を持つような本を展示・紹介する「子育て応援コーナー」を設置します。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	毎年10月を図書館のファミリー読書月間とし、子どもと保護者の読書活動の推進を図ります。また、期間中には、図書館ごとに、家読活動を支援するための取組を実施します。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館に対し、より親しみを持ってもらうため、「市立図書館ポスターコンクール」を実施します。(指定管理者)	社会 教育課	新規



季節のおはなし会
(武里図書館)



子どもによる本の紹介展示
(庄和図書館)

◆子どもが読書に親しむ機会の提供・充実

子どもの読書への関心を高めるため、子どもの発達段階に応じた様々な取組を行うとともに、子どもの視点を取り入れた新しい取組や、読書バリアフリー推進計画を踏まえた多様な子どもたちの読書機会の確保を図ります。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①図書館利用促進のための取組	図書館ごとに、子どもの年齢的特性や地域の実情を踏まえ、子どもと保護者を対象とした取組の更なる充実に努めます。(指定管理者)	社会教育課	継続
	「図書館を使った調べる学習コンクール」など、子どもたちの調べ学習や読書の成果の情報が発信される機会を拡充し、図書館利用の促進を図ります。(指定管理者)	社会教育課	継続
	インターネット環境が身近にある子どもたちのため、図書館システムと連動した読書推進機能を活用します。(指定管理者)	社会教育課	継続
	図書館のホームページからの所蔵検索が一層容易にできるような新しい機能の充実を図ります。(指定管理者)	社会教育課	新規
	子どもの読書活動の成果を発表する機会を積極的に設け、子どもの読書意欲の継続に努めます。(指定管理者)	社会教育課	拡充
	図書館ごとに、「子ども読書の日」と「文字・活字文化の日」から始まる読書週間に関連した取組をそれぞれ実施し、子どもに読書のきっかけを与え、子どもの読書活動を更に推進します。(指定管理者)	社会教育課	継続

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①図書館利用促進のための取組	自由研究のアイデアカード作成や読書感想文の書き方講座など、子どもの自主的な学習活動を支援し、多様な学習機会の提供に努めます。(指定管理者)	社会 教育課	新規
②おはなし会の実施	図書館ごとに、ストーリーテリングを中心とした年齢別のおはなし会を毎週開催します。おはなしの世界を想像して楽しむ経験を通し、子どもを自主的な読書活動に導き、生涯にわたって読書習慣を身につけるきっかけづくりを支援します。(指定管理者)	社会 教育課	継続
③多様な子どもたちの読書機会の確保	点字つき絵本、マルチメディア DAISY 図書、外国語の本など、多様な子どもたちのための本を拡充します。	社会 教育課	継続
	障がいのある子ども向けの DAISY 図書※、マルチメディア DAISY 図書や、母語が日本語以外の子ども向けの外国語の本など、種別資料リストを作成し、図書館ホームページで公開します。(指定管理者)	社会 教育課	新規
	リーディングトラックなどの読書補助具を配置し、視覚障がい者等の読書を支援します。	社会 教育課	拡充
	障がいなどの理由で図書館へ来館するのが困難な子どもの関連施設などへ団体貸出を行います。(指定管理者)	社会 教育課	新規
	障がい者や母語が外国語の子どもにも分かりやすいよう、やさしい日本語やピクトグラムを使った利用案内(LL版)を作成します。(指定管理者)	社会 教育課	新規

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
③多様な子どもたちの読書機会の確保	点字図書館、サピエ図書館※、国立国会図書館など、録音・点字資料などのサービスを利用できる施設の情報を広報し、視覚障がい者等がより専門的で多様なサービスを受けられるように努めます。 (指定管理者)	社会 教育課	新規
④子どもの視点に立った読書活動	図書館ごとに子ども司書講座を開催し、家庭や学校において読書のリーダーとして活躍する子どもを養成します。 また、講座を修了した子ども司書の読書意欲が継続するような活躍の場を設けます。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	中学生や高校生を対象としたビブリオバトルを毎年実施し、子どもの発達段階に合わせた読書活動を推進します。 (指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館ごとに、中学生や高校生など同世代のつながりを一層活かし、図書館の利用を拡大するため、ボードゲームなどの新しく、より身近な取組を実施します。 (指定管理者)	社会 教育課	新規
	図書館ごとに、子ども自身が選ぶおすすめ本や作成した POP を紹介する機会を設け、同世代の子どもの読書の幅を広げることに努めます。(指定管理者)	社会 教育課	継続

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
⑤ボランティア等の支援・育成	学校での読み聞かせ活動を支援するため、各学校に読み聞かせ用ブックリストを配布します。	社会教育課	継続
	学校などで読み聞かせ活動に関わるボランティアを支援・育成するため、要望に応じて読み聞かせ養成講座などの講師派遣を行います。	社会教育課	継続
⑥学校等との連携・協力	団体貸出、学校おはなし会、ブックトークの効果的な広報を実施し、学校と連携した児童生徒の読書活動の充実に努めます。	社会教育課	継続
	団体貸出サービスの利用アンケート調査を実施して学校の現状や要望を把握し、団体貸出用の本を充実します。	社会教育課	継続
	司書職員による中学校等の学校図書館支援の機会などを活用し、団体貸出の利便性向上に努めます。	社会教育課	継続



「子ども司書講座」
(庄和図書館)

(2) 子育て支援・社会教育施設等の取組

児童センターなどの施設では、施設の状況に応じ、児童書の設置や読み聞かせなどの取組を継続して行います。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①児童発達支援センターの取組	日々の療育に絵本などを取り入れるなど、本を楽しむ機会の更なる充実を図ります。	障がい者支援課	継続
②児童センターの取組	読み聞かせ事業の実施や、読書に通じる活動を取り入れた事業の実施を継続します。	こども育成課	継続
③子育て支援センターの取組	子どもと保護者が気軽に本と触れ合うことができるよう、引き続き児童書を配架します。	保育課	継続
④放課後児童クラブの取組	各施設に児童書などを継続して配架します。	こども育成課	継続
⑤放課後子ども教室の取組	学校の協力のもと、学校図書館などで自由教室を実施することで、子どもが自ら本を手にとれる環境を確保し、読書を推奨します。	こども育成課	継続
⑥公民館の取組	児童書を継続して配架するとともに、公民館によって実施している読み聞かせに関する事業の継続・充実に努めます。また、実施していない公民館では、子育てサロンなどで読書活動推進のための企画を検討します。	中央公民館	継続
⑦地域文庫の取組	効果的な広報手段を検討し、地域の子どもたちの身近な読書活動の場である地域文庫活動への協力を努めます。	社会教育課	継続
	地域文庫からの要望に応じ、団体貸出のための児童書の充実を図ります。	社会教育課	継続

【施策3】学校等における読書活動推進

(1) 学校の取組

子どもが一日の大半を過ごす学校では、本と触れ合う多くの機会があり、様々な取組を通して、子どもの読書活動をさらに推進します。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①学校の取組	12学級以上の全ての学校に司書教諭の配置を継続し、11学級以下の学校にも積極的に配置していく方針です。	指導課	継続
	学校の特色を生かして読書週間や読書月間の取組を工夫し、本への興味関心を高めたり読書の幅を広げたりすることができるように努めます。	指導課	継続
	読書の時間を工夫することで、読書の習慣化を図ります。	指導課	継続
	様々な教科と読書を関連付けた学習を展開し、児童生徒の読書生活が充実するように努めます。	指導課	継続
	学校の特色を生かした子ども同士の取組の読書活動を継続して実施します。	指導課	継続
②学校図書館の取組	本の貸出冊数や人気の本などを調査し、各学校の実態に応じて魅力的な学校図書館づくりを工夫することで、児童生徒の学校図書館利用率を高めることができるように努めます。	指導課	継続
	国語科や総合的な学習の時間など、学習の場として使いやすい学校図書館づくりに努めます。	指導課	継続
③学校図書館の図書整備	学校図書館の蔵書冊数は、おおむね順調に伸びており、引き続き学校図書館の充実を図ります。	教育 総務課	継続

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
③ 学校図書館の図書整備	学校図書館図書標準に留意しながら、現状にそぐわなくなった内容の本や、使用に耐えられなくなった本などについて蔵書の更新を行い、児童生徒の利用に役立つ図書の整備に努めます。	教育 総務課	継続
④ 学校図書館支援員の配置 (小学校・義務教育学校(前期課程) 図書館)	学校図書館支援員の適正配置に努め、学校図書館の充実を図ります。	教育 総務課	拡充
	学校図書館支援員が学校と連携して読書に関わるイベントや選書の支援などを行います。	教育 総務課	継続
	司書職員が学校図書館支援員への基本研修を定期的実施するとともに個別相談に随時対応し、更なるスキルアップのサポートを行います。	社会 教育課	継続



小学校図書館
「読書の木」
(粕壁小学校)



小学校図書館
「たくさん本をよんで、しおりをゲット!」
(上沖小学校)

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
⑤ 司書職員の訪問支援 (中学校・義務教育学校(後期課程) 図書館)	司書職員が支援を行っている体制を活用し、学校と連携して読書郵便などの複数校にまたがる読書活動を図ります。	社会教育課	継続
	生徒が自発的に行う読書活動や、読書活動を広める取組の企画を支援するため、学校と連携して生徒のブックトーク実施やPOP作成などを推進するよう努めます。	社会教育課	継続
	学校と連携して図書委員会活動に積極的に協力し、読書好きな生徒の育成に努めます。	社会教育課	継続
	学校と連携して図書館クイズなどの読書意欲向上のための取組を実施します。	社会教育課	継続
	「自由研究の本の探し方」など、子どもが身近に感じるテーマのパスファインダー※を作成し、情報の探し方や集め方を通して生徒の主体的な学習活動を支援します。	社会教育課	新規
	学校の掲示板コーナーなどを利用し、新着図書などの情報を広報します。	社会教育課	継続
	各学校で実施している取組などに関する情報を集約し、情報共有を図ります。	社会教育課	新規



中学校図書館の「展示コーナー」
(緑中学校)



中学校図書館の「展示コーナー」
(春日部中学校)

(2) 幼稚園・保育所(園)の取組

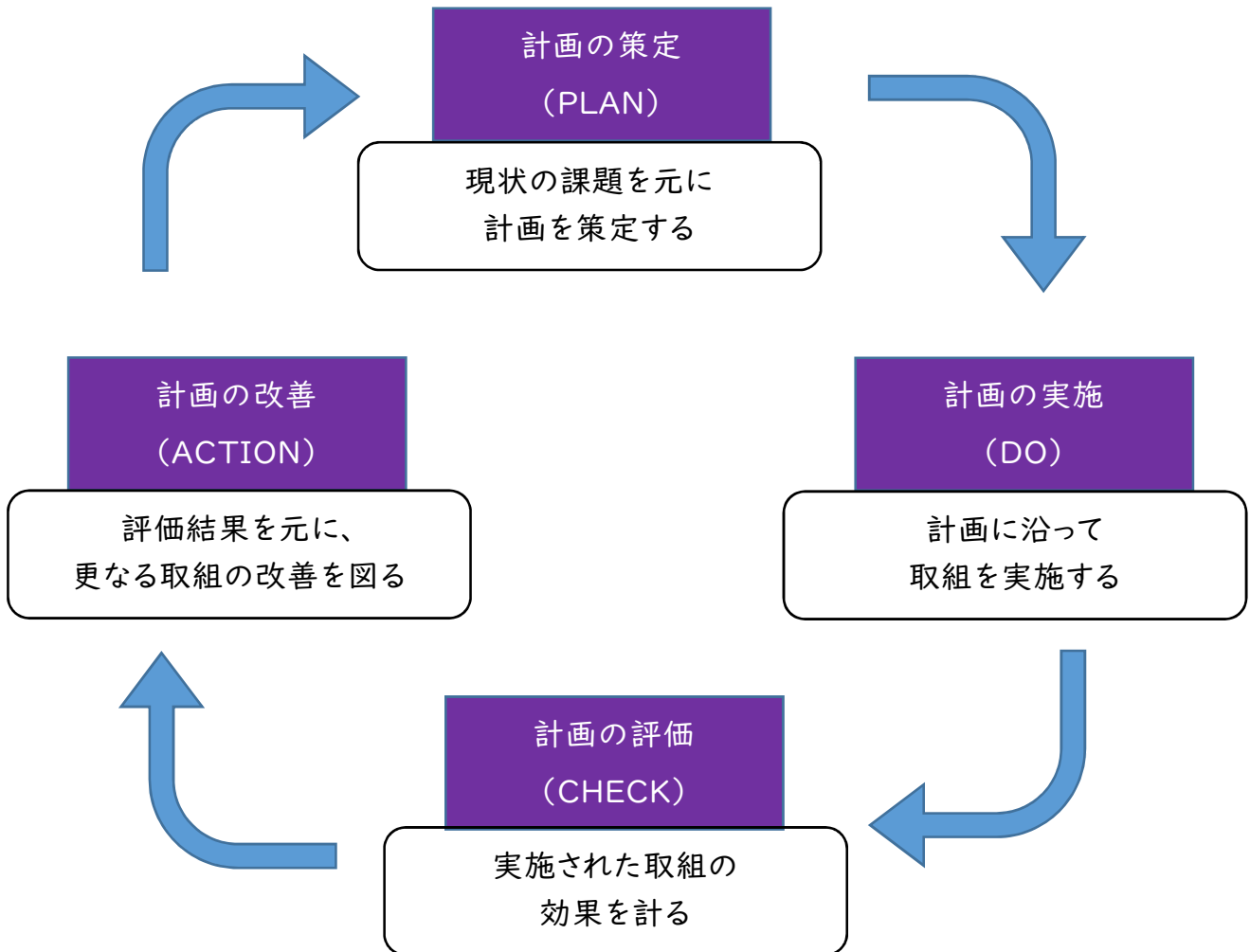
幼稚園や保育所(園)では絵本の読み聞かせなどを通して、子どもが絵本や物語に親しむ活動を継続して行います。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
① 私立幼稚園の取組	園児がより読書活動を楽しめるよう、大型絵本などの団体貸出を継続して活用します。	保育課	継続
② 公立保育所の取組	絵本・紙芝居などを保育所間で貸し借りするなど、資源を有効に活用できるようにし、絵本活用の充実を図ります。	保育課	継続
	保育の中で絵本の活用の機会を多く持つとともに、保育士の読み聞かせスキルアップに努めます。	保育課	継続
③ 民間保育園の取組	園児がより読書活動を楽しめるよう、大型絵本などの団体貸出を継続して活用します。	保育課	継続

2 計画の進捗管理

春日部市立図書館運営審議会において、進捗状況の把握・分析・評価を行います。

PDCA サイクルの考えに基づき、毎年度、各取組の進捗状況により、取組や成果の達成状況について点検や評価を行い、適宜改善をしながら、より効果的な計画となるように努めていきます。



3 数値目標

具体的取組の進捗管理のため、施策の柱となる4つの数値目標を設定します。

(1) 家読（うちどく）プロジェクト参加人数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
127人		280人

(2) 図書館の児童書貸出冊数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
311,542冊		330,000冊

(3) 子ども向けおはなし会参加人数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
1,092人		1,800人

(4) 図書標準達成校数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
31校		34校

4 成果指標

計画全体の進捗管理のため、読書アンケート調査の結果に基づく2つの成果指標を設定します。なお、各学年には該当する義務教育学校の児童生徒を含みます。

(1) 読書が好きな子どもの割合

	令和4年度 実績値		令和10年度 目標値
小学2年生	85.5%	⇒	90.0%
小学5年生	80.5%		85.0%
中学2年生	73.6%		76.0%

(2) 1か月に読んだ本が「0冊」の子どもの割合（不読率）

	令和4年度 実績値		令和10年度 目標値
小学2年生	5.7%	⇒	4.0%
小学5年生	13.5%		8.0%
中学2年生	19.5%		17.5%



ちいさい子のおはなし会
(中央図書館)

資料編

- 1 春日部市子ども読書アンケート調査結果
- 2 春日部市子ども読書アンケート調査結果集計
- 3 春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会要綱
- 4 春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会委員
- 5 春日部市子ども読書活動推進計画策定経緯
- 6 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 7 用語解説

○春日部市子ども読書アンケート調査結果

1. 調査概要

春日部市の児童生徒の読書活動の実態を調べ、今後の読書活動推進の参考とするために、市内の小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校の協力のもと、読書アンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

(1) 調査期間

令和4年11月1日から11月30日まで

(2) 調査対象とする児童生徒

市内小学校の2年生、5年生、中学校の2年生、義務教育学校の2年生、5年生、8年生、県立及び私立高等学校の2年生を対象としています。調査は、対象とする各学年において学級単位で行うこととし、調査を依頼した各学校に1学級を選んでいただきました。

なお、調査結果における小・中学生の記載には、該当する学年の義務教育学校の児童生徒が含まれています。

(3) 調査方法

中学生、高校生については自記式の調査票を配付しましたが、小学生については各学校の判断により、自記式、または挙手式の調査を選択いただきました。挙手式においては、担当の先生が設問を読み上げ、児童が該当する選択肢に挙手をし、先生が集計する形式で調査を実施していただきました。

(4) 回収状況

	学校数	学年	対象人数	回収件数	回収率
小学校	22校	2年生	614人	598件	97.4%
		5年生	668人	636件	95.2%
中学校	11校	2年生	390人	342件	87.7%
義務教育学校	1校	2年生	27人	21件	77.8%
		5年生	19人	16件	84.2%
		8年生	24人	22件	91.7%
高等学校	6校	2年生	224人	203件	90.6%
合計			1,966人	1,838件	93.5%

第2次春日部市子ども読書活動推進計画 読書アンケート調査票

- このアンケートでいう「本」は、紙で印刷された本のことです。(マンガ・雑誌・教科書・学習参考書はふくみません) 電子書籍は、質問10・11のみです。
- 市の図書館とは、春日部市立中央図書館・武里図書館・庄和図書館のことです。

1. 本を読むことは好きですか。

- ①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い ④嫌い

2. 本を読むことについて、どう思いますか。(3つまで)

- ①楽しい ②頭がよくなる ③言葉が身につく ④感動する
 ⑤勉強に役立つ ⑥知らないことがわかる
 ⑦そのことについて友達や家族と話ができる
 ⑧ひまつぶしになる ⑨つまらない ⑩親や先生に言われるから読む
 ⑪めんどくさい ⑫その他(具体的に:)

3. 1日にどのくらいの時間、本を読みますか。

(1) ふだん学校のある日

- ①読まない ②15分以下 ③15分～29分 ④30分～59分
 ⑤1時間～1時間59分 ⑥2時間以上

(2) 学校のない休みの日

- ①読まない ②15分以下 ③15分～29分 ④30分～59分
 ⑤1時間～1時間59分 ⑥2時間以上

4. 先月(10月)1か月に本を何冊くらい読みましたか。

- ①0冊 ②1～2冊 ③3～4冊 ④5～9冊 ⑤10冊以上

5. (4で「①0冊」と答えた人へおたずねします。) 本を読まなかった理由はなんですか。

- ①勉強や習いごと、学習塾など、他の活動がいそがしかったから
 ②テレビやゲームなど、他の遊びの方が面白いから
 ③読みたい本がないから ④どの本がおもしろいかわからないから
 ⑤読むのがめんどくさいから ⑥本が好きではないから
 ⑦その他(具体的に:)

6. 本を読むきっかけとなっているのは、どのようなことがありますか。(あてはまるものすべて)

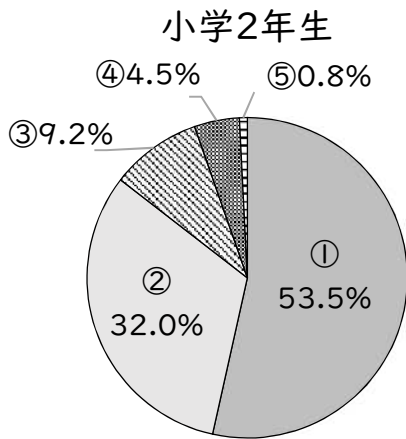
- ①お家の人(保護者)と一緒に本を読んでもらったり、
 図書館に連れていってくれたりすること
 ②家に読みたい本があること ③市の図書館に読みたい本があること

【アンケート調査結果集計】

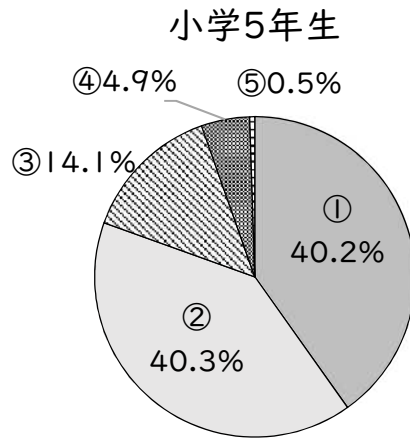
設問1. 本を読むことは好きですか。

(単位:件)

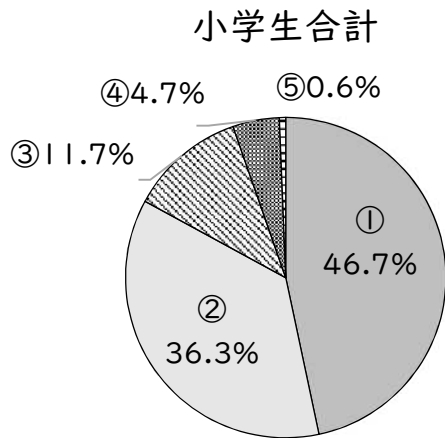
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①好き	331	262	593
②どちらかといえば好き	198	263	461
③どちらかといえば嫌い	57	92	149
④嫌い	28	32	60
⑤無効回答	5	3	8
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①好き	127	67	
②どちらかといえば好き	141	85	
③どちらかといえば嫌い	63	36	
④嫌い	32	15	
⑤無効回答	1	0	
合計	364	203	



(回答者数=619人)

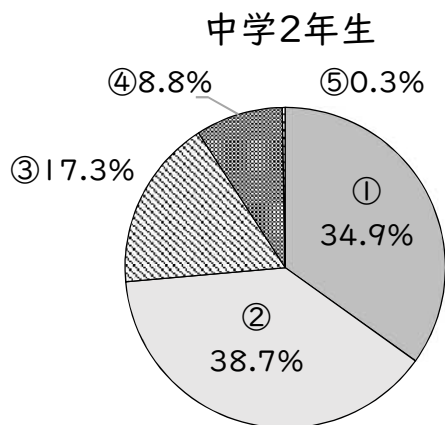


(回答者数=652人)

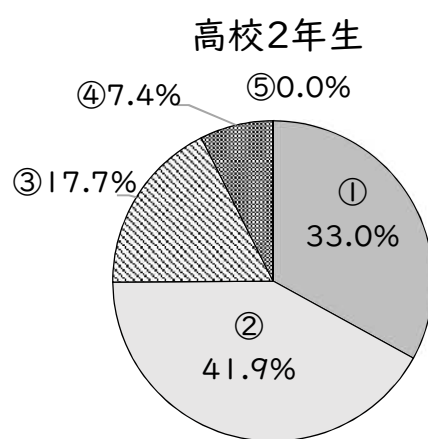


(回答者数=1,271人)

- ①好き
- ②どちらかといえば好き
- ③どちらかといえば嫌い
- ④嫌い
- ⑤無効回答



(回答者数=364人)



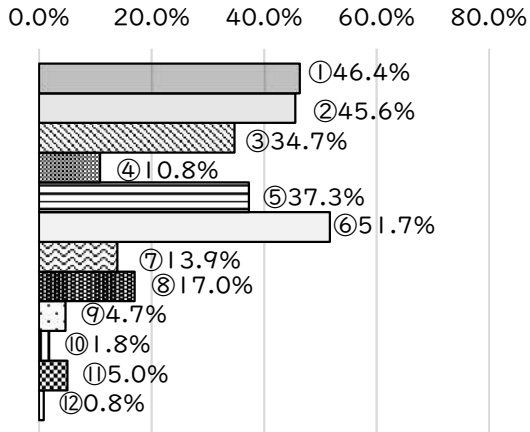
(回答者数=203人)

設問2. 本を読むことについて、どう思いますか。(3つまで)

(単位:件)

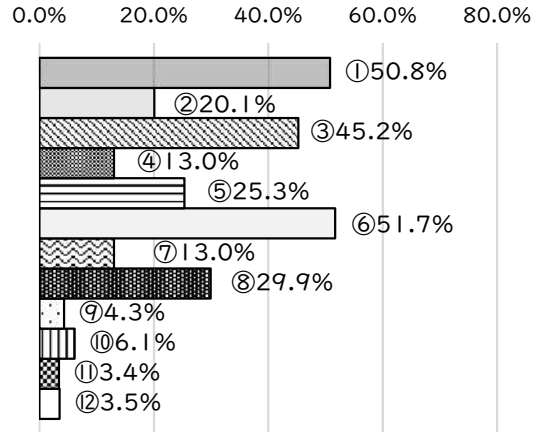
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①楽しい	287	331	618
②頭がよくなる	282	131	413
③言葉が身につく	215	295	510
④感動する	67	85	152
⑤勉強に役立つ	231	165	396
⑥知らないことがわかる	320	337	657
⑦そのことについて友達や家族と 話ができる	86	85	171
⑧ひまつぶしになる	105	195	300
⑨つまらない	29	28	57
⑩親や先生に言われるから読む	11	40	51
⑪めんどくさい	31	22	53
⑫その他	5	23	28
合計	1,669	1,737	3,406
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①楽しい	158	109	
②頭がよくなる	51	33	
③言葉が身につく	151	100	
④感動する	116	60	
⑤勉強に役立つ	52	27	
⑥知らないことがわかる	127	64	
⑦そのことについて友達や家族と 話ができる	35	7	
⑧ひまつぶしになる	136	47	
⑨つまらない	31	13	
⑩親や先生に言われるから読む	21	4	
⑪めんどくさい	31	15	
⑫その他	9	5	
合計	918	484	

小学2年生



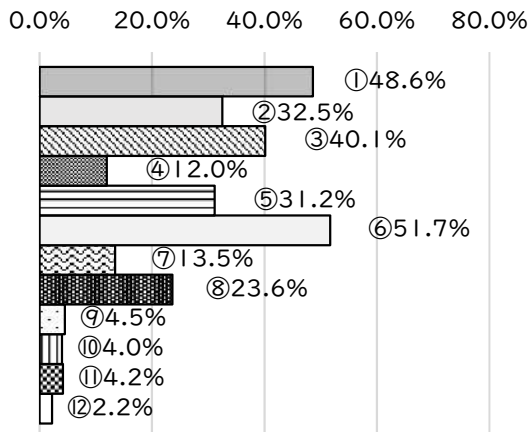
(回答者数=619人)

小学5年生



(回答者数=652人)

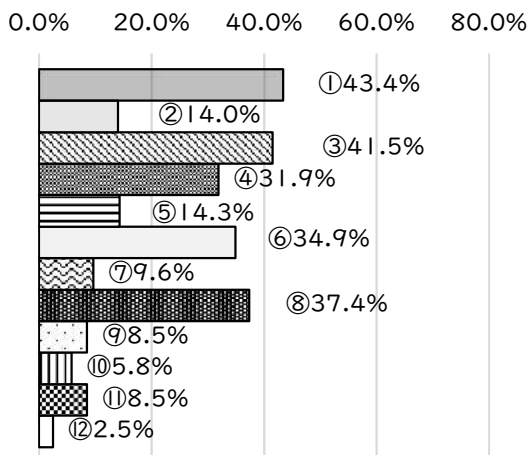
小学生合計



(回答者数=1,271人)

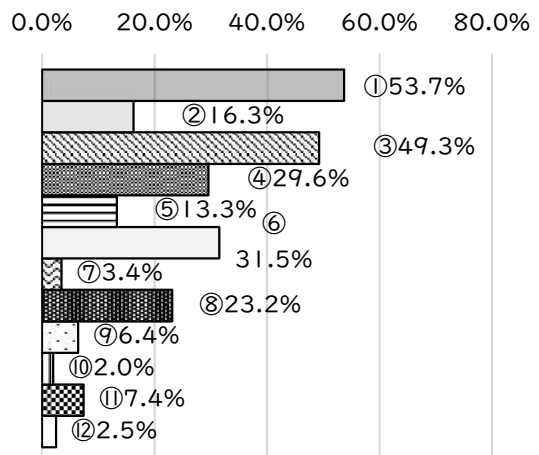
- ① 楽しい ② 頭がよくなる
- ③ 言葉が身につく ④ 感動する
- ⑤ 勉強に役立つ
- ⑥ 知らないことがわかる
- ⑦ そのことについて友達や家族と話ができる
- ⑧ ひまつぶしになる ⑨ つまらない
- ⑩ 親や先生に言われるから読む
- ⑪ めんどくさい ⑫ その他

中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生



(回答者数=203人)

設問3.1日にどのくらいの時間、本を読みますか。

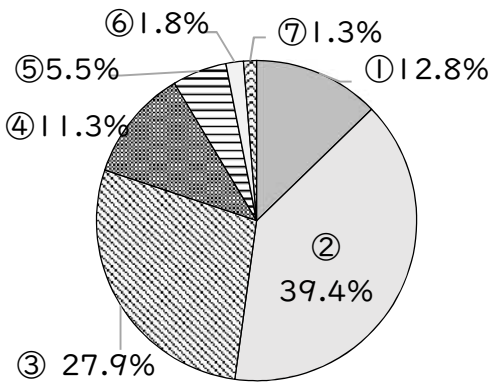
(1)学校のある日

(単位:件)

選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①読まない	79	145	224
②15分以下	244	219	463
③15分~29分	173	183	356
④30分~59分	70	77	147
⑤1時間~1時間59分	34	17	51
⑥2時間以上	11	10	21
⑦無効回答	8	1	9
合計	619	652	1,271

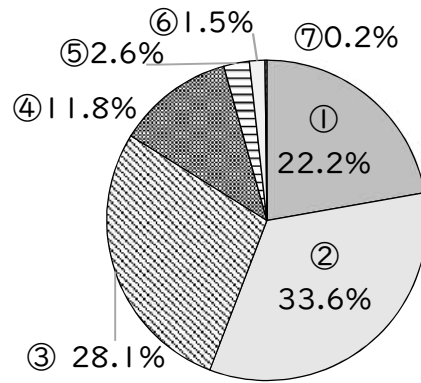
選択項目	中学2年生	高校2年生
①読まない	74	129
②15分以下	152	45
③15分~29分	90	9
④30分~59分	28	10
⑤1時間~1時間59分	13	3
⑥2時間以上	5	5
⑦無効回答	2	2
合計	364	203

小学2年生



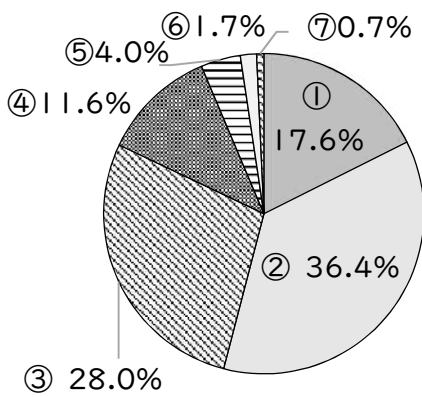
(回答者数=619人)

小学5年生



(回答者数=652人)

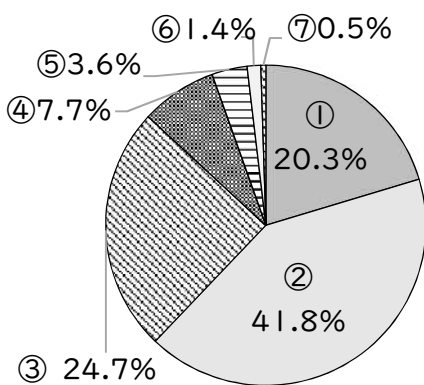
小学生合計



(回答者数=1,271人)

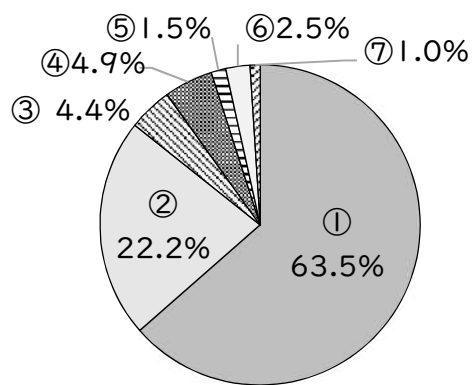
- ① 読まない
- ② 15分以下
- ③ 15分～29分
- ④ 30分～59分
- ⑤ 1時間～1時間59分
- ⑥ 2時間以上

中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生



(回答者数=203人)

設問3. 1日にどのくらいの時間、本を読みますか。

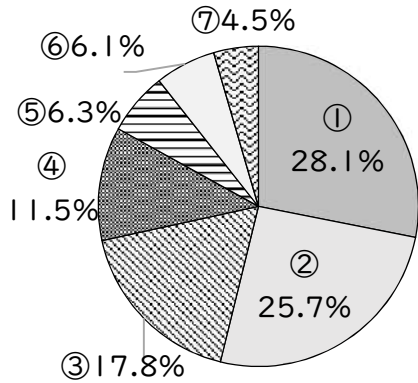
(2) 学校のない休みの日

(単位:件)

選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①読まない	174	212	386
②15分以下	159	146	305
③15分～29分	110	109	219
④30分～59分	71	79	150
⑤1時間～1時間59分	39	40	79
⑥2時間以上	38	24	62
⑦無効回答	28	42	70
合計	619	652	1,271

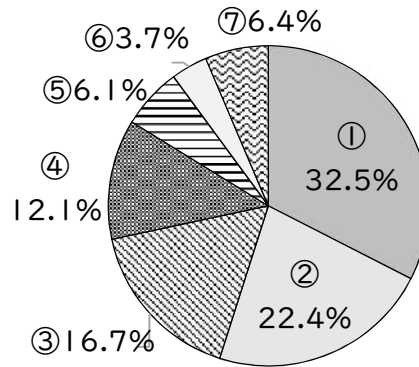
選択項目	中学2年生	高校2年生
①読まない	208	133
②15分以下	53	21
③15分～29分	37	10
④30分～59分	24	21
⑤1時間～1時間59分	22	6
⑥2時間以上	8	6
⑦無効回答	12	6
合計	364	203

小学2年生



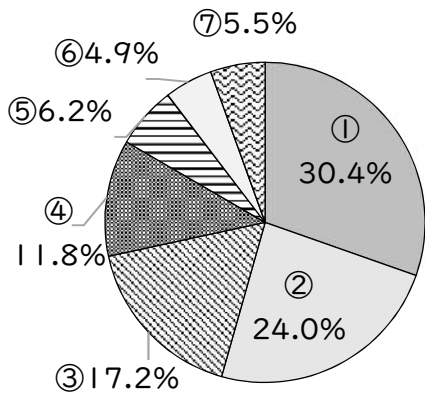
(回答者数=619人)

小学5年生



(回答者数=652人)

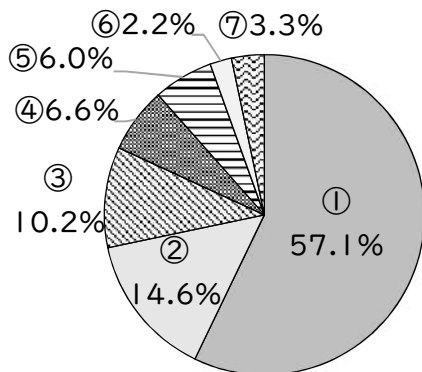
小学生合計



(回答者数=1,271人)

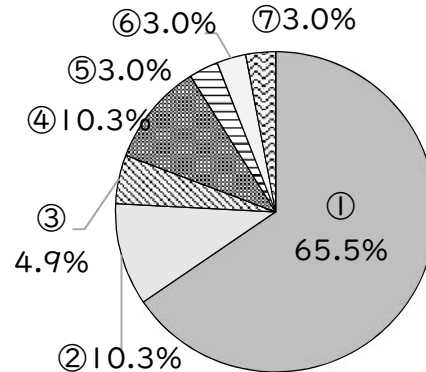
- ① 読まない
- ② 15分以下
- ③ 15分～29分
- ④ 30分～59分
- ⑤ 1時間～1時間59分
- ⑥ 2時間以上
- ⑦ 無効回答

中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生



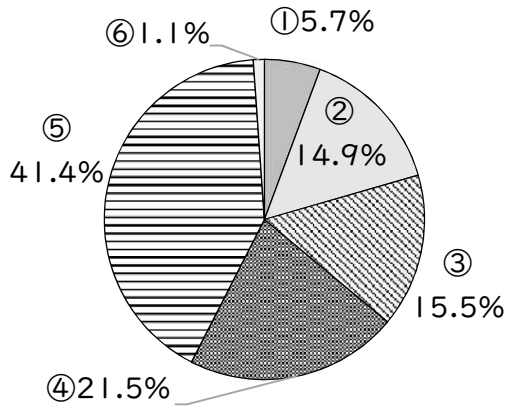
(回答者数=203人)

設問4. 先月(10月)1か月に本を何冊くらい読みましたか。

(単位:件)

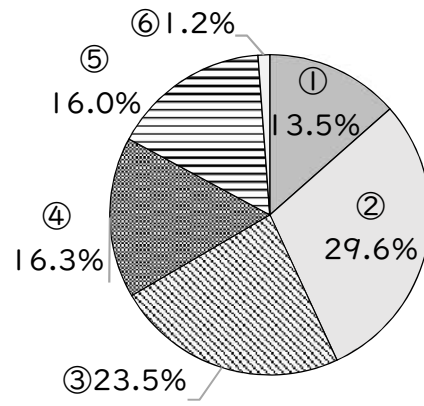
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①0冊	35	88	123
②1~2冊	92	193	285
③3~4冊	96	153	249
④5~9冊	133	106	239
⑤10冊以上	256	104	360
⑥無効回答	7	8	15
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①0冊	71	98	
②1~2冊	201	79	
③3~4冊	65	17	
④5~9冊	16	6	
⑤10冊以上	11	3	
⑥無効回答	0	0	
合計	364	203	

小学2年生



(回答者数=619人)

小学5年生

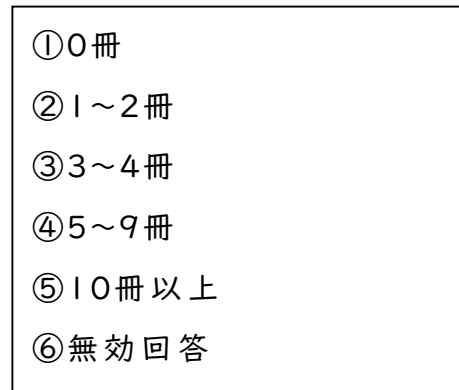


(回答者数=652人)

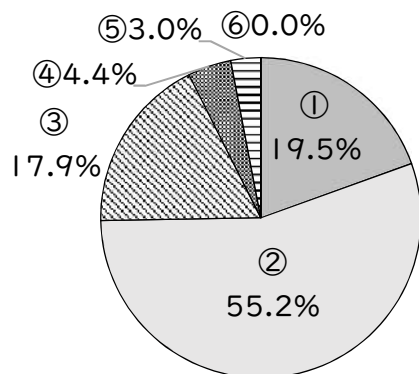
小学生合計



(回答者数=1,271人)

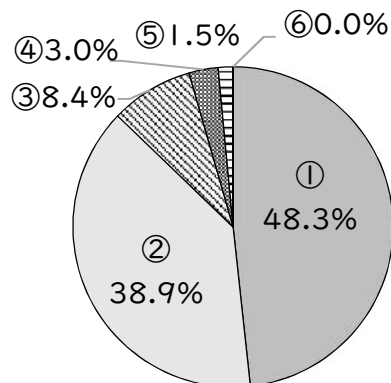


中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生



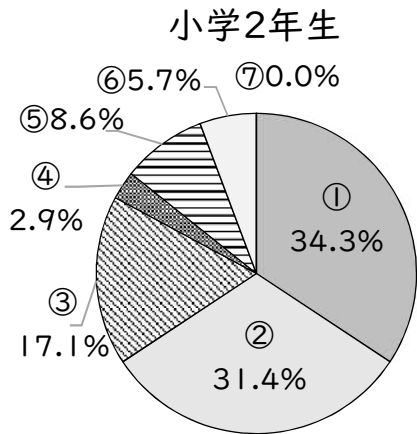
(回答者数=203人)

設問5。(4で「①0冊」と答えた人へおたずねします。)

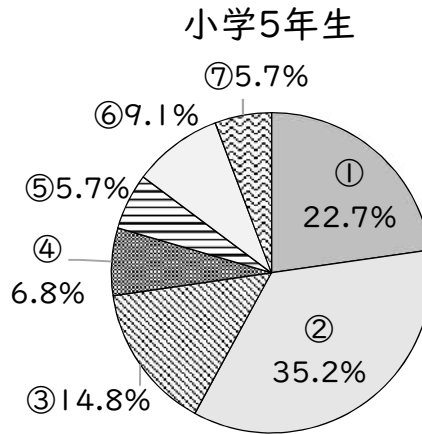
本を読まなかった理由はなんですか。

(単位:件)

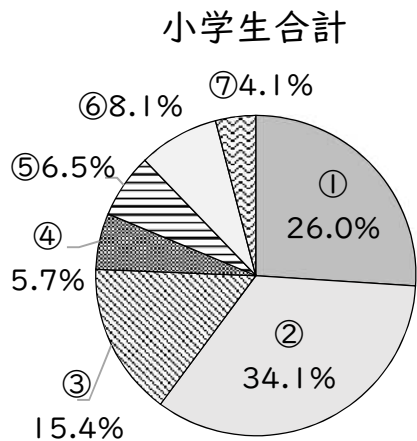
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①勉強や習いごと、部活、学習塾 など、他の活動がいそがしかったから	12	20	32
②他にしたいことがあったから	11	31	42
③読みたい本がないから	6	13	19
④どの本がおもしろいかわからないから	1	6	7
⑤読むのがめんどうだから	3	5	8
⑥その他	2	8	10
⑦無効回答	0	5	5
合計	35	88	123
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①勉強や習いごと、部活、学習塾 など、他の活動がいそがしかったから	19	46	
②他にしたいことがあったから	20	16	
③読みたい本がないから	12	10	
④どの本がおもしろいかわからないから	2	2	
⑤読むのがめんどうだから	6	10	
⑥その他	5	10	
⑦無効回答	7	4	
合計	71	98	



(回答者数=35人)

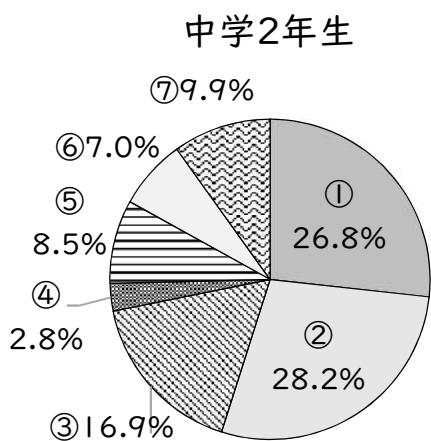


(回答者数=88人)

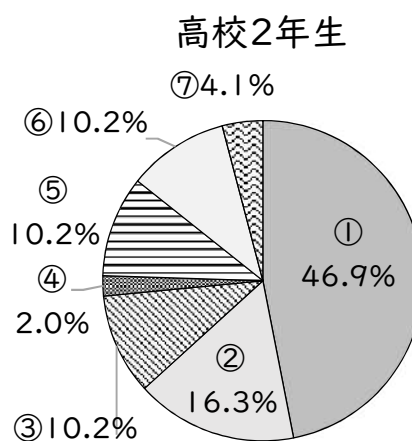


(回答者数=123人)

- ①勉強や習いごと、部活、学習塾など、他の活動がいそがしかったから
- ②他にしたいことがあったから
- ③読みたい本がないから
- ④どの本がおもしろいかわからないから
- ⑤読むのがめんどうだから
- ⑥その他
- ⑦無効回答



(回答者数=71人)



(回答者数=98人)

設問6. 本を読むきっかけとなっているのは、どのようなことがありますか。

(あてはまるものすべて)

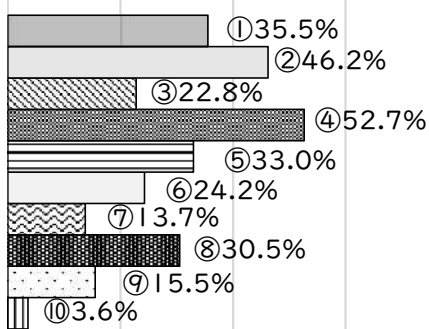
(単位:件)

選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①お家の人(保護者)と一緒に本を読んでもらったり、図書館に連れて行って読んでもらったりすること	220	136	356
②家に読みたい本があること	286	345	631
③市の図書館に読みたい本があること	141	92	233
④学校の図書室や学級文庫に読みたい本があること	326	212	538
⑤友達がおすすめの本を教えてくれたり、貸してもらったりすること	204	180	384
⑥学校の先生がおすすめの本を教えてくれること	150	65	215
⑦市の図書館の人やボランティアの人がおすすめの本を教えてくれること	85	15	100
⑧学校で行われている読書活動(朝読)など	189	172	361
⑨テレビ、雑誌、新聞、インターネットの広告	96	89	185
⑩その他	22	39	61
合計	1,719	1,345	3,064

選択項目	中学2年生	高校2年生
①お家の人(保護者)と一緒に本を読んでもらったり、図書館に連れて行って読んでもらったりすること	28	14
②家に読みたい本があること	169	88
③市の図書館に読みたい本があること	36	22
④学校の図書室や学級文庫に読みたい本があること	88	43
⑤友達がおすすめの本を教えてくれたり、貸してもらったりすること	99	49
⑥学校の先生がおすすめの本を教えてくれること	17	9
⑦市の図書館の人やボランティアの人がおすすめの本を教えてくれること	2	1
⑧学校で行われている読書活動(朝読)など	118	17
⑨テレビ、雑誌、新聞、インターネットの広告	151	90
⑩その他	25	11
合計	733	344

小学2年生

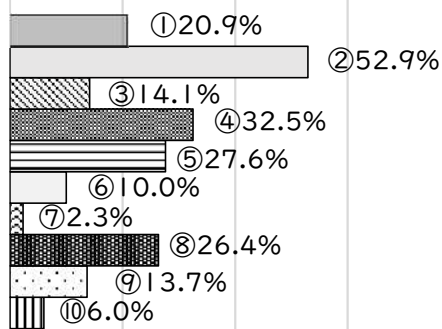
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



(回答者数=619人)

小学5年生

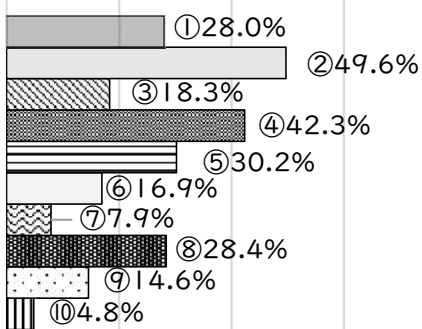
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



(回答者数=652人)

小学生合計

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%

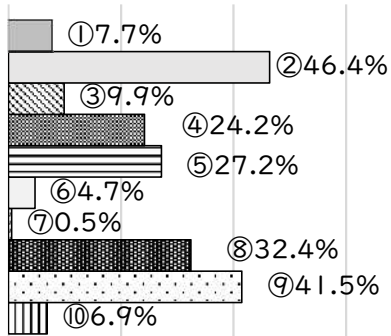


(回答者数=1,271人)

- ① お家の人(保護者)と一緒に本を読んでもくれたり、図書館に連れて行ってくれたりする
- ② 家に読みたい本がある
- ③ 市の図書館に読みたい本がある
- ④ 学校の図書室や学級文庫に読みたい本がある
- ⑤ 友だちがおすすめの本を教えたり、貸してくれたりする
- ⑥ 学校の先生がおすすめの本を教える
- ⑦ 市の図書館の人やボランティアの人がおすすめの本を教える
- ⑧ 学校で行われている読書活動(朝読)など
- ⑨ テレビ、雑誌、新聞、インターネットの広告
- ⑩ その他

中学2年生

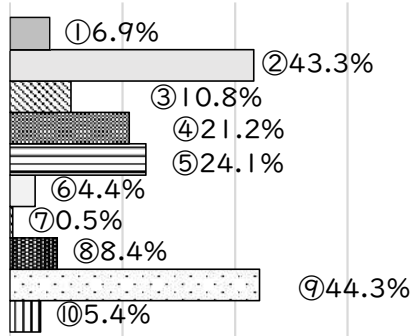
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



(回答者数=364人)

高校2年生

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



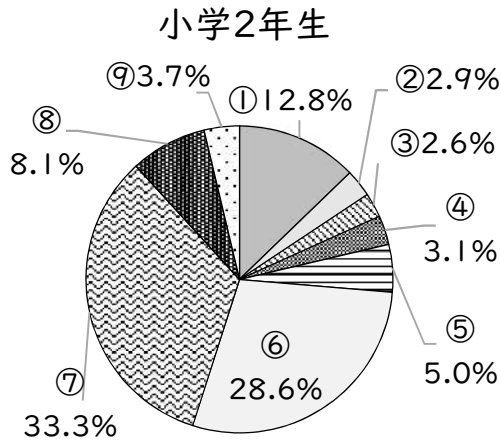
(回答者数=203人)

設問7. ふだん、どのくらい学校の図書室や市の図書館に行きますか。本を借りなくてもかまいません。(一番近いものに○をしてください)

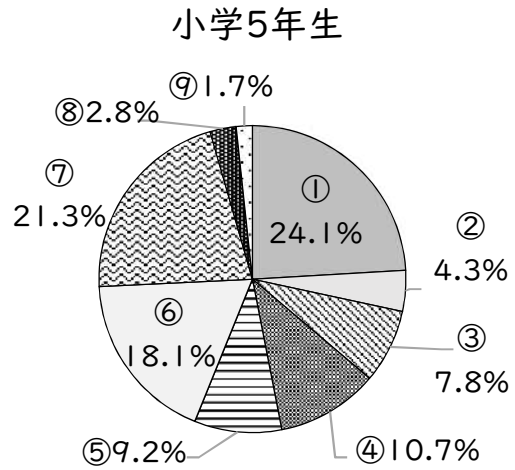
(1) 学校の図書室

(単位:件)

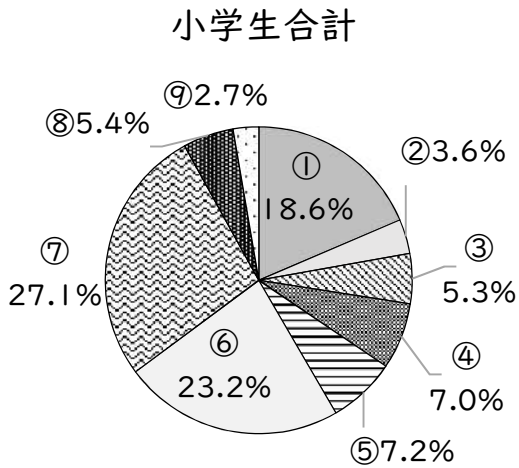
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①ほとんど行かない	79	157	236
②年に1回	18	28	46
③半年に1回	16	51	67
④3か月に1回	19	70	89
⑤1か月に1回	31	60	91
⑥1か月に2~3回	177	118	295
⑦毎週	206	139	345
⑧ほとんど毎日	50	18	68
⑨無効回答	23	11	34
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①ほとんど行かない	225	132	
②年に1回	20	12	
③半年に1回	35	13	
④3か月に1回	21	19	
⑤1か月に1回	16	12	
⑥1か月に2~3回	26	8	
⑦毎週	13	4	
⑧ほとんど毎日	1	1	
⑨無効回答	7	2	
合計	364	203	



(回答者数=619人)

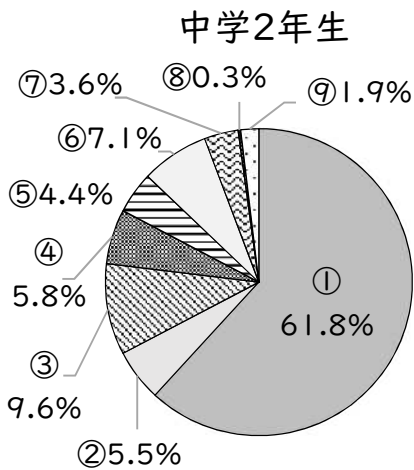


(回答者数=652人)

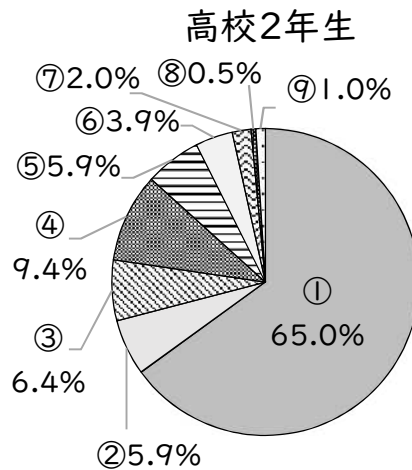


(回答者数=1,271人)

- ①ほとんど行かない
- ②年に1回
- ③半年に1回
- ④3か月に1回
- ⑤1か月に1回
- ⑥1か月に2~3回
- ⑦毎週
- ⑧ほとんど毎日
- ⑨無効回答



(回答者数=364人)



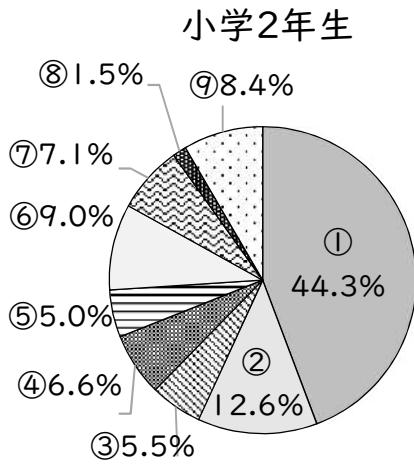
(回答者数=203人)

設問7. ふだん、どのくらい学校の図書室や市の図書館に行きますか。本を借りなくてもかまいません。(一番近いものに○をしてください)

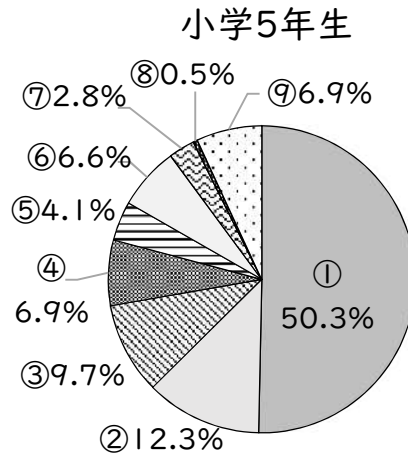
(2) 市の図書館

(単位:件)

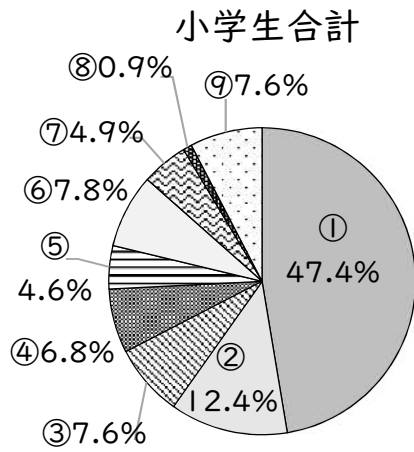
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①ほとんど行かない	274	328	602
②年に1回	78	80	158
③半年に1回	34	63	97
④3か月に1回	41	45	86
⑤1か月に1回	31	27	58
⑥1か月に2~3回	56	43	99
⑦毎週	44	18	62
⑧ほとんど毎日	9	3	12
⑨無効回答	52	45	97
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①ほとんど行かない	256	152	
②年に1回	33	13	
③半年に1回	20	12	
④3か月に1回	19	6	
⑤1か月に1回	8	7	
⑥1か月に2~3回	12	10	
⑦毎週	3	0	
⑧ほとんど毎日	0	0	
⑨無効回答	13	3	
合計	364	203	



(回答者数=619人)

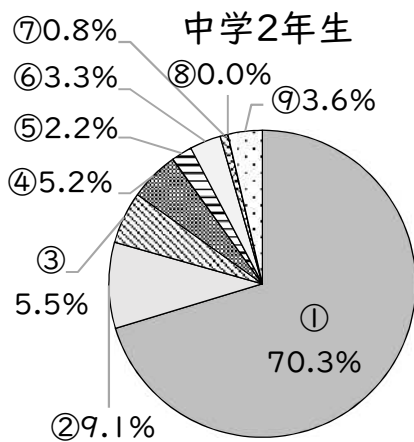


(回答者数=652人)

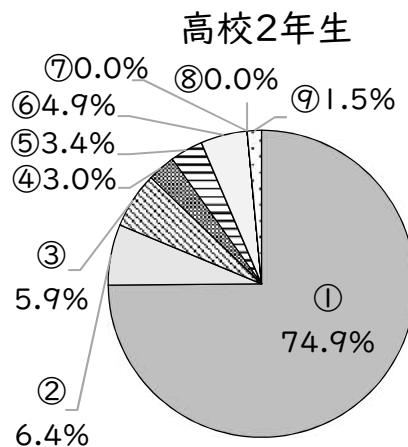


(回答者数=1,271人)

- ①ほとんど行かない
- ②年に1回
- ③半年に1回
- ④3か月に1回
- ⑤1か月に1回
- ⑥1か月に2~3回
- ⑦毎週
- ⑧ほとんど毎日
- ⑨無効回答



(回答者数=364人)



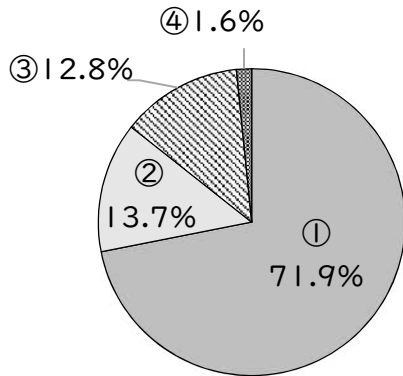
(回答者数=203人)

設問8. 今までに、お家の人(保護者)に絵本や物語を読んでもらったことがありますか。

(単位:件)

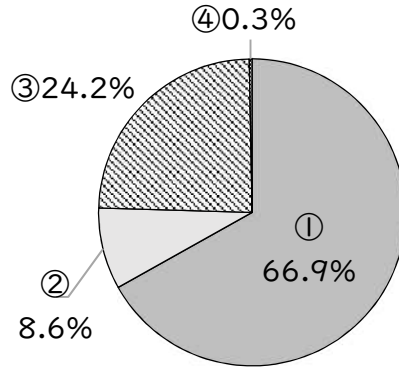
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①ある	445	436	881
②ない	85	56	141
③覚えていない	79	158	237
④無効回答	10	2	12
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①ある	234	160	
②ない	26	4	
③覚えていない	98	38	
④無効回答	6	1	
合計	364	203	

小学2年生



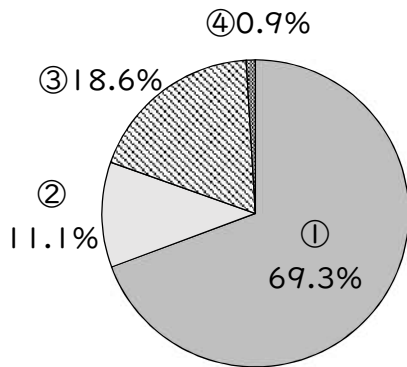
(回答者数=619人)

小学5年生



(回答者数=652人)

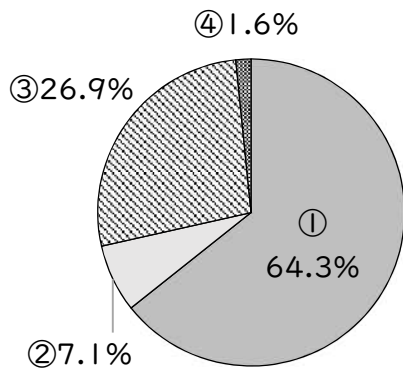
小学生合計



(回答者数=1,271人)

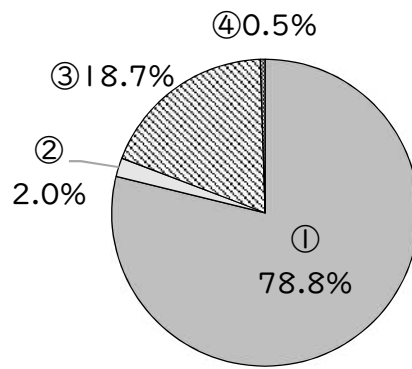
- ①ある
- ②ない
- ③覚えていない
- ④無効回答

中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生



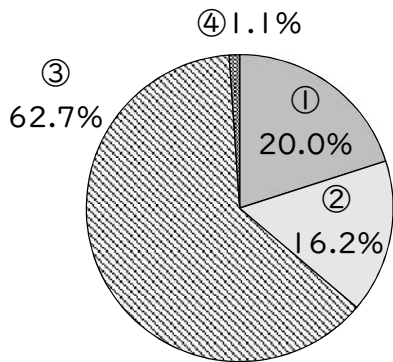
(回答者数=203人)

設問9.市の図書館で、おはなし会が行われていることを知っていますか。

(単位:件)

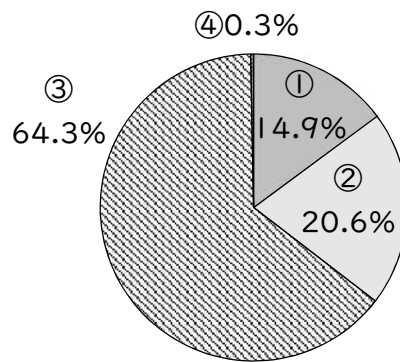
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①知っている	124	97	221
②聞いたことがある	100	134	234
③知らない	388	419	807
④無効回答	7	2	9
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①知っている	68	65	
②聞いたことがある	88	36	
③知らない	202	99	
④無効回答	6	3	
合計	364	203	

小学2年生



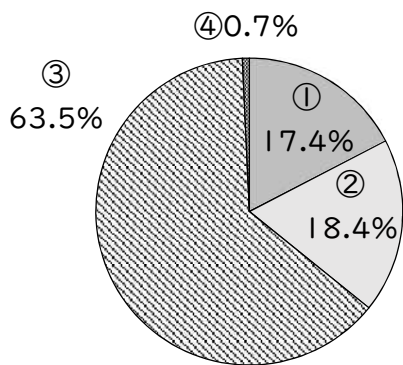
(回答者数=619人)

小学5年生



(回答者数=652人)

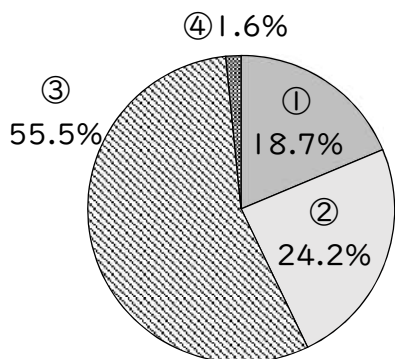
小学生合計



(回答者数=1,271人)

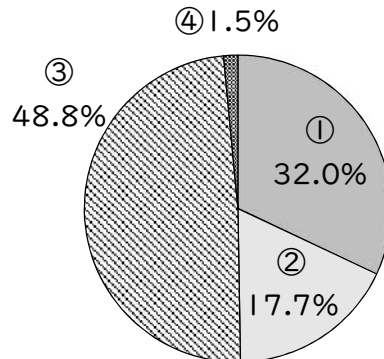
- ①知っている
- ②聞いたことがある
- ③知らない
- ④無効回答

中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生

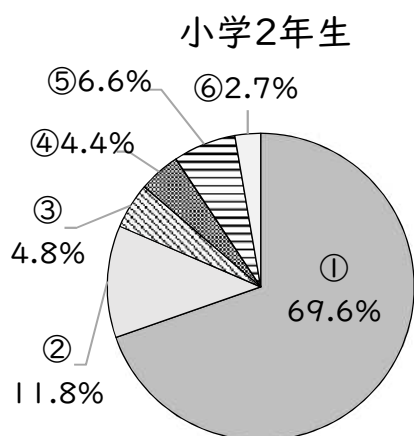


(回答者数=203人)

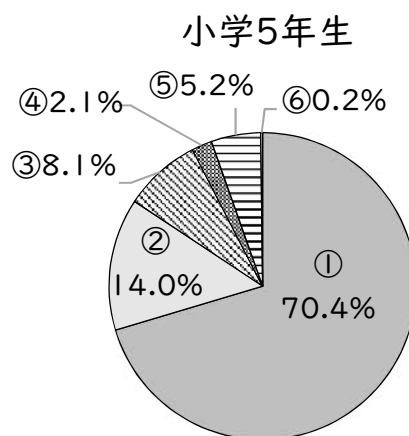
設問10.先月(6月)1か月にパソコンやスマートフォンで読める本(電子書籍)を何冊くらい読みましたか。

(単位:件)

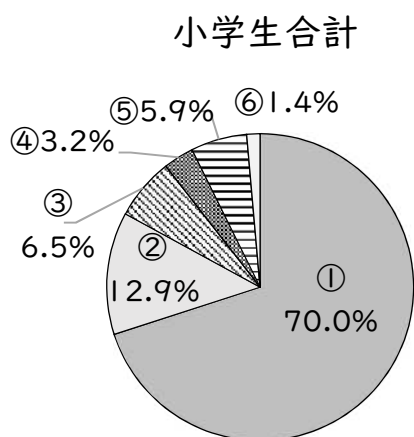
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生合計
①0冊	431	459	890
②1~2冊	73	91	164
③3~4冊	30	53	83
④5~9冊	27	14	41
⑤10冊以上	41	34	75
⑥無効回答	17	1	18
合計	619	652	1,271
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①0冊	228	134	
②1~2冊	63	39	
③3~4冊	33	14	
④5~9冊	11	6	
⑤10冊以上	23	8	
⑥無効回答	6	2	
合計	364	203	



(回答者数=619人)

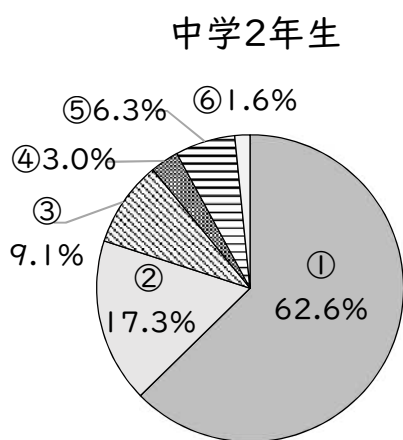


(回答者数=652人)

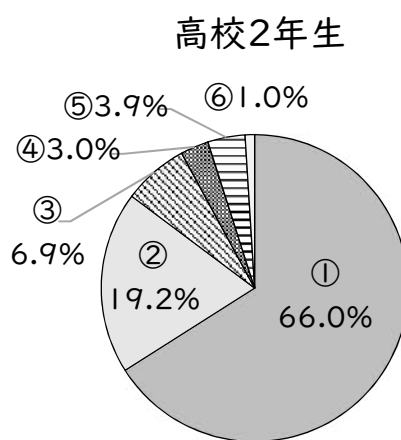


(回答者数=1,271人)

- | | |
|---|-------|
| ① | 0冊 |
| ② | 1~2冊 |
| ③ | 3~4冊 |
| ④ | 5~9冊 |
| ⑤ | 10冊以上 |
| ⑥ | 無効回答 |



(回答者数=364人)



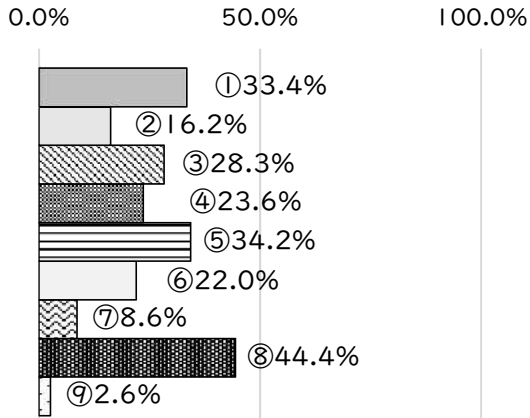
(回答者数=203人)

設問11. パソコンやスマートフォンで読める本(電子書籍)について、どう
 思いますか。(3つまで)

(単位:件)

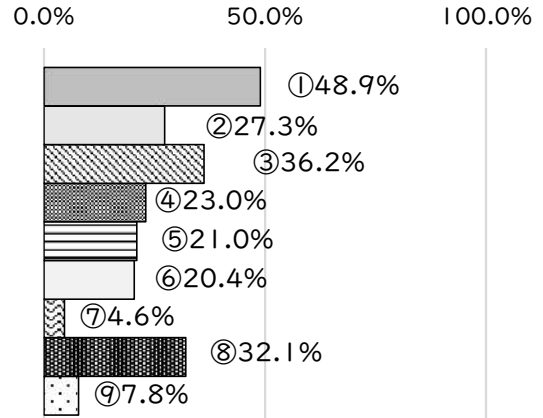
選択項目	小学2年生	小学5年生	小学生 合計
①いつでもどこでも読めるので便利	207	319	526
②保管場所をとらず、持ち運びが楽	100	178	278
③図書館や書店に行かなくても新しい本を 読める	175	236	411
④文字の大きさを換えられたり、読み上げた りしてくれるので便利	146	150	296
⑤使い方が分からない	212	137	349
⑥スマートフォンなど、読むための機器を持 っていない	136	133	269
⑦友だちと本の貸し借りができないので不 便	53	30	83
⑧紙の本のほうが好き	275	209	484
⑨その他	16	51	67
合計	1,320	1,443	2,763
選択項目	中学2年生	高校2年生	
①いつでもどこでも読めるので便利	250	171	
②保管場所をとらず、持ち運びが楽	157	90	
③図書館や書店に行かなくても新しい本を 読める	138	72	
④文字の大きさを換えられたり、読み上げた りしてくれるので便利	65	14	
⑤使い方が分からない	29	8	
⑥スマートフォンなど、読むための機器を持 っていない	10	1	
⑦友だちと本の貸し借りができないので不 便	11	2	
⑧紙の本のほうが好き	90	51	
⑨その他	31	2	
合計	781	411	

小学2年生



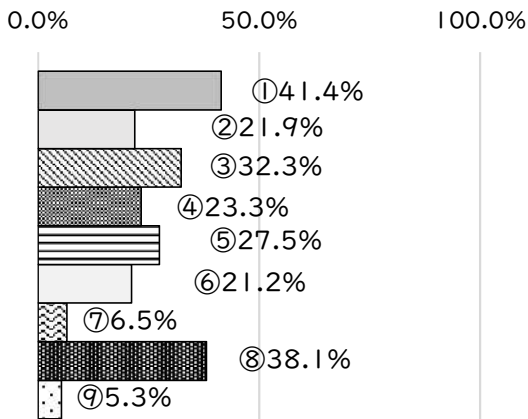
(回答者数=619人)

小学5年生



(回答者数=652人)

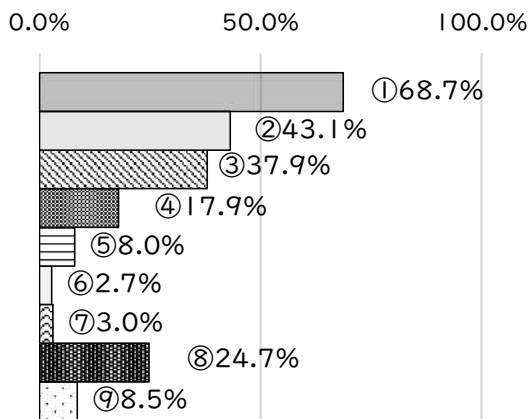
小学生合計



(回答者数=1,271人)

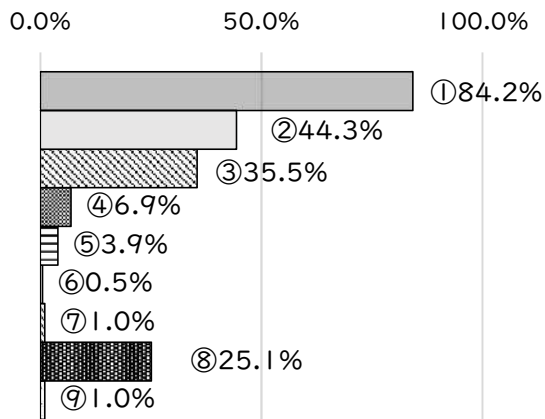
- ①いつでもどこでも読めるので便利
- ②保管場所をとらず、持ち運びが楽
- ③図書館や書店に行かなくても新しい本を読める
- ④文字の大きさを変えられたり、読み上げたりしてくれるので便利
- ⑤使い方が分からない
- ⑥スマートフォンなど、読むための機器を持っていない
- ⑦友だちと本の貸し借りができないので不便
- ⑧紙の本のほうが好き ⑨その他

中学2年生



(回答者数=364人)

高校2年生



(回答者数=203人)

○春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会要綱

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定により、春日部市子ども読書活動推進計画(以下「計画」という。)を策定するため、春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員若干人をもって組織する。

- 2 委員長は、社会教育課生涯学習推進担当課長をもって充てる。
- 3 副委員長は、教育総務課長をもって充てる。
- 4 委員は、政策企画課長、障がい者支援課長、こども育成課長、こども相談課長、保育課長及び指導課長をもって充てる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見聴取等)

第6条 委員会は、審議のため必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局社会教育部社会教育課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和5年4月1日から施行する。
(春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会要綱の廃止)
- 2 春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会要綱(令和4年3月18日制定)は、廃止する。

○春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会委員

令和4年度

	委員会役職	職名	氏名
1	委員長	社会教育課生涯学習推進 担当課長	木舟 宏美
2	副委員長	学校総務課長	篠原 直樹
3	委員	政策課長	野本 昇
4	委員	障がい者支援課長	内藤 道夫
5	委員	こども政策課長	野口 勉
6	委員	こども相談課長	桑原 隆
7	委員	保育課長	駒崎 浩司
8	委員	指導課長	大野 明彦

令和5年度

	委員会役職	職名	氏名
1	委員長	社会教育課生涯学習推進 担当課長	野口 美明
2	副委員長	教育総務課長	成塚 淳一
3	委員	政策企画課長	野本 昇
4	委員	障がい者支援課長	内藤 道夫
5	委員	こども育成課長	手崎 貴代公
6	委員	こども相談課長	野口 勉
7	委員	保育課長	駒崎 浩司
8	委員	指導課長	佐山 宏樹

○第2次春日部市子ども読書活動推進計画策定経緯

	月 日	内 容
1	令和4年 8月5日	第1回春日部市立図書館運営審議会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画 読書アンケート調査(案)について
2	10月13日	第1回第2次春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画の策定について ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画 読書アンケート調査(案)について
3	10月18日	10月定例教育委員会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画の策定について
4	11月1日 ~11月30日	・第2次春日部市子ども読書活動推進計画 読書アンケート調査(市内小学校24校、中学校13校、高等学校6校)
5	令和5年 6月29日	第1回春日部市立図書館運営審議会 ・「春日部市子ども読書活動推進計画」(令和4年度取組状況)について
6	7月14日	第2回第2次春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画(案)の概要について ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画 数値目標と成果指標(案)について ・春日部市子ども読書アンケート調査結果について
7	10月4日	第3回第2次春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会 ・「第2次春日部市子ども読書活動推進計画(案)」について
8	10月17日	10月定例教育委員会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画(案)について
9	12月21日	第2回春日部市立図書館運営審議会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画(案)について
10	令和6年 1月4日~ 2月2日	市民意見提出手続
11	3月26日	第3回春日部市立図書館運営審議会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画について
12	3月26日	3月定例教育委員会 ・第2次春日部市子ども読書活動推進計画について

○子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月12日号外法律第154号）

（目的）

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第 11 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

用語解説 (50音順)

家読(うちどく)

「家庭読書」の略語で、家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書運動。

LLブック(エルエルブック)

知的障がいや学習障がいのある人などが読みやすいように、短い文章や絵文字を使うなど工夫してつくられた、「やさしく読みやすい本」。

スウェーデン語表記:LättLäst

おはなし会

ストーリーテリング(素話)や絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行い、子どもにお話の楽しさを伝える取組。

学校図書館図書標準

文部科学省が平成5年3月に定めた公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書冊数の標準のこと。

サピエ図書館

インターネット上の電子図書館。30万タイトル以上の録音・点字・電子書籍を提供するネットワーク。

セカンドブック

ブックスタートのフォローアップ事業として、小学校入学時などに本の配付などを行う取組。

全国調査

昭和29年より、公益社団法人全国学校図書館協議会が毎年行っている「学校読書調査」のこと。最新の調査結果(令和4年6月調査)によると、前年度と比較し、どの校種でも不読率が向上した。(小学生 5.5%→6.1%、中学生10.1%→18.6%、高校生 49.8%→51.1%)

地域文庫

地域の施設等で本の貸出しや読み聞かせなどを行っている、市民による子ども読書推進活動。

DAISY図書（デイジー図書）

視覚障がいや学習障がいのため、読書が困難な人のためのデジタル録音図書。別名「音声デイジー」。

英語表記: Digital Accessible Information System

読書通帳

銀行の通帳と同様の形式で、借りた本の名前、著者、貸出日などを記帳できるもの。

読書バリアフリー推進計画

読書バリアフリー法第7条の規定により策定された視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する国の基本計画。正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」。

読書バリアフリー法

障がいの有無に関わらず、全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律。正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」。

図書館を使った調べる学習コンクール

図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的とし、子ども自身が疑問に思うことなどを、公共図書館や学校図書館を使って調べた作品のコンクール。

パスファインダー

あるテーマについて調べるときに役立つ資料やツールをまとめて紹介するもの。「パスファインダー (pathfinder)」は「道しるべ」という意味。

ビブリオバトル

発表者がおすすめしたい本を紹介し、参加者が一番読みたくなった「チャンプ本」を決定する、ゲーム感覚の読書推進活動。

ブックスタート

乳幼児検診などの機会に、絵本の読み聞かせを通じて「絵本」と「赤ちゃん」と絵本を楽しむ体験」をプレゼントする取組。

ブックトーク

特定のテーマに沿った数冊の本を様々な手法を使って紹介し、聞き手に読書意欲をを起こさせる取組。

マルチメディアDAISY図書

パソコン等で音声聞きながらテキストや絵などを同時に見られる機能を備えたデジタル録音図書。

リレーうちどく

一冊の本を家族や学校などでリレーしながら読み、本の感想をみんなで共有することで家読を推進する取組。



地域文庫



親子おはなし会



「クレヨンしんちゃん」©白井儀人／双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK

第2次春日部市子ども読書活動推進計画

(令和6年度～令和10年度)

—全ての子どもに読書の楽しみを—

令和6年3月31日発行

発行 春日部市

編集 社会教育部社会教育課

春日部市中央七丁目2番地1



かすかべ